昭和五十七年六月

墨田区教育史年表

（百十四年の歩み）

墨田区教育委員会

昭和五十七年六月

墨田区教育史年表

（百十四年の歩み）

墨田区教育委員会

墨田区教育史年表

（令和四年四月一日現在）

墨田区教育委員会

令和五年三月

凡例

一、この年表は「墨田区教育史」執筆のための資料として編集したものである。

二、本年表には明治元年から昭和五六年までの百十四年間の教育関係事項を、年代を追って各年別にまとめ記載した。なお、本区の教育関係資料のほかに、文部省、東京都（府）等の教育行政関連事項をも同じく月順に列記した。

三、本年表の作成にあたっては主として次のものを基礎資料とした。

墨田区内各学校の沿革誌。本所区史。吾嬬町誌。隅田町誌。墨田区史（昭和三四年版）。墨田誌考（上・下）。墨田区史（上）（昭和五四年版）。墨田区勢概要。墨田区立中学校三〇年の歩み。東京都公文書館所蔵資料。東京市史稿。東京市会史。東京教育史資料大系（全一〇巻）。東京百年史別巻年表。学制百年史資料編。東京都教育史稿戦後学校教育編。東京都の教育。東京都教育委員会年次報告。戦後日本教育史。

墨田区教育史年表

（明治元年～昭和五六年）

元号年（西暦）	事項
慶応4年＝明治1年（1868）	
2月	水野金が本所緑町に家塾「宇宙斎」を開き支那学、筆道を教える。
3月	大野久寿が本所緑町に家塾「松影堂」を開き筆道、読書、算術を教える。（大野学校の前身）
4月11日	江戸開城。
6月	木下良三が本所菊川町に家塾「通義社」を開き支那学、医学を教える。
6月	今井新蔵が南本所荒井町に家塾「習陸堂」を開き、筆道を教える。
7月1日	今井教之が南本所外手町に家塾「今井儀山」を開き筆道を教える。
7月17日	江戸を東京と改称する。
8月27日	明治天皇即位の大礼をあげる。
8月	林貫一が本所柳原に家塾を開き、習字、算術を教える。
9月8日	明治と改元、一世一元の制を定める。
10月	木股楳軒が本所若宮町に家塾「遷喬堂」を開き、支那学、筆学、算術を教える。
2月	新井新が本所亀沢町に家塾「博審学舎」を開き、読書、習字を教える。
3月28日	東京遷都。

明治2年（1869）

3月　男谷謙蔵が請地村に家塾「亀堂」を開き、読書、算術、習字を教える。（男谷学校の前身）
3月　長谷川織人が請地村に家塾「教育堂」を開き、読書、算術、習字を教える。
10月　佐々木良助が中之郷瓦町に家塾「佐々木堂」を再開し、筆道、和算を教える。
12月　高木玉太郎が中之郷原庭町に家塾「山川堂」を開き、読書、算術、筆道を教える。（高木学校の前身）

明治3年（1870）

1月　中島謙三が本所松井町に家塾「時習堂」を開き、筆道、素読、算術を教える。
1月　三宅郁三郎が本所緑町に家塾「文哉」を開き、筆道、読書、算術を教える。
1月　秋田源八郎が本所松井町に家塾「硯海堂」を開き、筆道、算術を教える。
1月　武藤栄吉が北本所出村に家塾を開き筆道を教える。
1月　佐野市太郎が小梅業平町に家塾「明数塾」を開き、算術、筆道を教える。（佐野学校の前身）
1月　矢掛弓雄が隅田村に家塾「墨水園」を開き、筆学、算術を教える。
2月26日　清水啓太郎が本所柳原に家塾「文集堂寿山」を開き、筆道を教える。
3月9日　金田度義が本所林町に家塾「集花堂」を開き、筆道、算術を教える。（金田学校の前身）
3月　榊原芳野が本所石原町に家塾「攻玉塾」を開き、皇学、支那学、物産学、律令学、音韻学を教える。
3月　柏木啓一郎が本所徳右衛門町に家塾「文林堂」を譲り受けて開業し筆学を教える。（柏木学校の前身）

明治3年（1870）	明治4年（1871）
4月　第六大区の有志が本所林町に家塾「育幼社」を開く。（中和小学校の前身） 6月28日　東京府下六か所に官立小学校を創設、深川森下町長慶寺に第六校を開校する。 9月4日　東京府下に中学校を開設する。 9月　保田亀一郎が本所中之郷竹町に家塾「文昇堂」を開き、筆道を教える。（保田学校の前身） ※　この年、尺振八が米国から帰国し、本所相生町に私塾を開き英学教育を行う。	1月　高間政樹が本所緑町に家塾「遷喬義塾」を開き英語学を教える。 2月　久保尊保が本所緑町に家塾「松川堂明沢」を開き、筆学、算術を教える。 3月　矢口記陽が本所北二葉町に家塾「雲泉堂愛明」を開き、筆道、読書、算術を教える。（矢口学校の前身） 4月　柿沼忠蔵が小梅業平町に家塾を開き筆道を教える。 9月　佐藤明和が本所太平町に家塾「宮川堂明和」を開き筆学を教える。 10月　大須賀元雄が南本所石原町に家塾「江静堂」を開き、読書、習字、算術を教える。 12月　五島又蔵が小梅村に家塾「文明堂」を開き、読書、習字、算術を教える。（五島学舎の前身） ※　この年、蛯江富佐太郎が北本所表町に家塾「東川堂」を開き、支那学、皇漢筆学、数学を教える。 ※　この年、角田辨斎が中之郷八軒町に家塾「鹿堂」を再開し、兵学、漢学を教える。

明治５年（１８７２）

1月　佐久間精一が本所松井町に家塾「龍斎」を開き、筆道を教える。（佐久間学校の前身）
1月　仙石徴が本所菊川町に家塾を開き支那学を教える。
1月　国富吉信が小梅業平町に家塾「孤松堂」を開き、漢学、筆道を教える。
2月　山本秀超が本所松倉町に家塾「松花堂」を開き筆道を教える。
2月　小寺直知が小梅村に家塾「閑水堂」を開き、読書、習字、算術を教える。（小寺学校の前身）
3月　斎藤徳軒が本所菊川町に家塾「晃堂筆舎」を再開し、筆道、素読、和算を教える。
6月　第六大区八小区の有志が北本所表町に「教育所」を設け、漢学、英学、和漢算学、和漢筆学を教える。
6月　平野玉城が本所花町に家塾「育幼社」を開き、支那学、筆道、算術を教える。
6月　吉田定一が本所柳原に家塾「育幼社」を開き英学を教える。
7月9日　森斉が本所柳原に家塾「育幼社」を開き支那学を教える。
7月　菅沼慎一が本所松井町に家塾を開き洋算を教える。
7月　覓正文が小梅村に家塾「育養社」を開き洋算を教える。（数学教授所の前身）
8月3日　「学制」を頒布。府県の学校を一旦廃止し、「学制」に従って設置するよう指示する。
9月　諸岡良明が北本所表町に家塾「極数軒」を開き数学を教える。
10月19日　中根貞和が本所入江町に私学「独逸学舎密伝習所」を創立し、独逸語、舎密学（化学）、地理学を教える。
11月2日　大塚喜十郎が中之郷八軒町に家塾「開巻塾」を再開し、漢学を教える。

明治6年（1873）

11月　隠孫三郎が須崎村に家塾「飄心書堂」を開き、筆道を教える。
11月　村岡良辰が須崎村に私学「墨水学校」を開き、英語学、数学、諸学科を教える。
※　この年、漢学者戸枝一が両国回向院境内に家塾「育幼社」を開く。

2月2日　清水義郎が中之郷八軒町に私学「清水学校」を開き、筆学、算術を教える。
2月8日　幸田総三郎が本所相生町に私学「幸田学校」を開き習字を教える。
3月17日　柿沼忠蔵が小梅業平町の家塾を「柿沼学校」と改称して、小学科を置く。
3月22日　公立「牛島学校」が須崎村に第六中学区第二番小学校として設立される。（生徒数約五〇名）
3月　石崎斧右衛門が家塾「文川堂」（安政元年六月開業）の開業願を出し、筆道、和算を教える。（石崎学校の前身）
3月　兼子忠三が家塾「晴光堂」（嘉永二年四月開業）の開業願を出し、筆道、素読を教える。（兼子学校の前身）
4月　第六中学区第一番小学校が深川御船蔵前町（現千歳二丁目）西光寺内に移転設置される。
4月　柳田貞助が本所相生町の家塾（文政一〇年四月開業）の開業願を出し筆道を教える。（柳田学校の前身）
6月　広田たよが家塾「文操堂筆学舎」（嘉永七年三月開業）の開業願を出し、筆道、和算を教える。（広田学校の前身）
7月18日　刀根満寿が南本所元町の家塾（慶応二年四月継承）の開業願を出し、皇漢筆算を教える。

明治6年　（1873）

（刀根学校の前身）

7月　新倉保孝が家塾「清雲堂」（嘉永七年四月開業）の開業願を出し、筆道、素読を教える。（新倉学校の前身）

8月31日　浅香松堂が家塾（天保元年正月開業）の開業願を出し、筆道を教える。（浅香学校の前身）

9月7日　横山当義が本所南割下水三笠町の家塾「南水堂一斎」（慶応二年九月開業）の開業願を出し、読書、筆道、算術を教える。（横山学校の前身）

9月　大野茂右衛門が葛西川村の家塾（慶応三年開業）の開業願を出し、読書、算術、習字を教える。（大野学舎の前身）

9月　奥村忠三郎が家塾（嘉永七年正月開業）の開業願を出し、筆道、読書、算術を教える。（奥村学校の前身）

9月　大橋正憲が中之郷村に家塾「思誠堂」を開き漢学を教える。

10月　津田信吉郎が中之郷村に私学「津田学舎」を開き筆道を教える。

12月22日　第六中学区第一番小学が深川御船蔵前町から、本所松井町に移転し、「土屋学校」と改称する。

※　この年、「墨陀学校」が隅田村多聞寺内に五か村（隅田、若宮、堀切、善左衛門、小谷野）の組合により創立される。

2月　田中正左衛門が家塾の開業願を出し、読書、算術、習字を教える。（田中学校の前身）

2月　山川果平が北本所表町に私立「山川学校」を開き、小学科を置く。

明治7年（1874）

3月　深川森下町の府下第六校「育幼社」が、本所林町の新校舎に移転し、第一番小学校「土屋学校」の分校となる。

5月8日　松浦明谷が本所元町に私立「両国学校」（旧川龍軒）を開き、小学科を置く。

5月8日　岡本弥七、平井久貴らが、本所緑町に私立「本所学校」を設立し、読書、習字、算術を教える。

5月18日　関根広豊が北本所番場町に私立「関根学校」を開き、読書、算術、習字を教える。

5月25日　中島謙三が本所松井町に私立「中島学校」を開き、小学科を置く。

7月4日　鈴木蒼竜が本所緑町に私立「竪川学校」を開き、読書、習字、算術を教える。

7月5日　植村泰通が本所花町に私学「日新義塾」を開き、英学、数学を教える。

7月12日　内野真平が南本所番場町に私立「内野学校」を開き、習字、算術、読本を教える。

7月　岡本弥兵衛が本所元町に私立「江東学校」を開き、読書、習字、算術を教える。

8月25日　西田八郎が本所小泉町に家塾を開き算術を教える。（西田学校の前身）

10月28日　尺振八が本所相生町に私学「共立学舎」を設立し英学を教える。

1月8日　文部省布達により、小学生徒の学齢を満六歳から満一四歳までと定める。

1月19日　公立小学「開世学校」が柳島町に設立される。（柳島学校の前身）

2月9日　宮内赫斎が本所緑町に私学「郁文学舎」を開き、英語学を教える。

3月17日　日向信重が本所元町に私立「日向学校」を開き、和算術を教える。

4月13日　江幡信楯が大畑村に家塾を開く。（第三吾嬬小学校の前身）

5月10日　今井教之が本所外手町に私立「今井学校」を開き、読書、習字、算術を教える。
5月14日　木股楳軒が本所若宮町に私立「若宮学校」を開き、読書、習字、算術を教える。
7月7日　公立小学「丸山学校」が深川北松代町に設立される。
7月8日　「開世学校」を「柳島学校」と改称する。
7月9日　公立小学「墨陀学校」が隅田村に設立される。
8月8日　本所林町の「育幼社」が第六中学区第一三番公立小学となり、「中和学校」と称する。
8月　矢掛三千代が隅田村に私立「矢掛学校」を開き、読書、習字、算術を教える。
8月　今井能恵が寺島村に私立「今井学校」を開き、読書、筆道、算術を教える。
9月14日　大津如水が本所林町に私立「大津学校」を開き、漢学、習字を教える。
9月22日　公立小学「中和学校」が開校式を挙行し、この日を開校記念日と定める。
10月3日　北尾清俊が本所中之郷竹町に私立「北尾学校」を開き、読書、習字、算術を教える。
10月17日　公立小学「江東学校」が本所元町に設立される。
10月19日　秋葉元政が本所松井町に私学「賛育舎」を開き、数学を教える。
10月28日　高瀬豊三が本所横網町に私立英学校「有勉社」を開く。
10月　小笠原政愛が小梅村に私立「小笠原学校」を開き、読書、習字、算術を教える。
11月10日　公立小学「本所学校」が本所永倉町に校舎を新築し開校する。（児童数二六五名、教員五名）
12月2日　永井景象が本所太平町に私学「共学舎」を開き、英語学、筆道を教える。
12月15日　公立小学「明徳学校」が佐竹義脩の寄付で、本所表町に開校される。（児童数約一〇〇名、

		職員五名）
12月22日		大嶋鶴が本所緑町に私立「大嶋学校」を開き、支那学を教える。
	明治9年（1876）	
2月22日		国富吉信が小梅業平町に私立「業平学校」を開き、読書、習字、算術を教える。
5月9日		林貫一が本所緑町に私立「双木学校」を開き、読書、習字、算術を教える。
8月10日		梅若香織が本所元町に私立「梅若学校」を開き、読書、習字、算術を教える。
8月10日		平野玉城が本所亀沢町に私立「平野学校」を開き、皇学、漢学を教える。
9月		「中和学校」の女児に初めて裁縫科を課する。
10月9日		酒井忠量が中之郷原庭町に私立「酒井学校」を開き、算術を教える。
10月		吉住鎌作が深川北松代町に私立「吉住学校」を開き、漢学を教える。
11月18日		今井芳州が本所林町に私学「明聲学舎」を開き、漢学を教える。（明聲学校の前身）
	明治10年（1877）	
1月9日		橘東世が本所松倉町に私学「少年学舎」を開き、歌学、習字、裁縫を教える。
2月21日		青木精一が本所松井町に私学「誠貫義塾」を開き、英学、漢学、算術を教える。
4月18日		倉持惟常が本所松倉町に私学「習字学舎」を開き、筆道を教える。
4月		吉田重威が本所亀沢町に私学「暢和学校」を開き、小学普通学科を教える。
5月18日		家塾「南水堂一斎」を「横山学校」と改称する。
6月1日		家塾「晴光堂」を「兼子学校」と改称する。
7月23日		公立小学「丸山学校」を「立志学校」と改称する。

明治10年（1877）	明治11年（1878）	明治12年（1879）
8月5日 猪熊勝五郎が本所緑町に私学「緑学校」を開き、漢学、算術、習字を教える。	4月10日 江幡信楯の家塾が大畑村の正覚寺本堂を教室として使用する。	3月13日 堀中徹蔵が本所緑町に私学「就道塾」を開き、漢籍を教える。
10月1日 第六中学区内に設立された「仁恵学校」を「公恵学校」と改称する。	5月13日 私立「暢和学校」が都合により閉校となる。	3月 私立英学校「有勉社」が閉校となる。
10月18日 貧困家庭児童を対象とした「公恵学校」が公立小学「江東学校」に付設される。	5月 公立「中和学校」が、上等科、下等科の制度を改め、期限六か年の尋常科とする。	3月 矢田重次郎が押上村に私学「浪波津学舎」を開き、筆道を教える。
10月18日 公立小学「江東学校」が男子校と女子校に分けられ「江東女子小学校」が設立される。	8月24日 公立「本所学校」の二階建増築校舎が完成する。（階上は裁縫室）	4月11日 波多野伝三郎が本所相生町に私学「共立学舎」を開き、英学、漢学、洋算を教える。
12月1日 私立「酒井学校」を「思斉学舎」と改称する。	11月2日 東京府が一五区六郡に再編成され、本所区が成立する。	4月12日 尺振八が病気のため私学「共立学舎」を閉業する。
		5月7日 私立「誠貫義塾」が閉業となる。
		6月 江幡信楯が大畑村に私立「江幡学校」を開き、小学科を置く。

明治12年（1879）

9月29日　公立「中和学校」が、大中小学区の学制廃止により、校名を「東京府立中和小学」と改称する。

9月　「公恵学校」内に「府立庶民夜学校」を併設する。

10月8日　私立「横山学校」の校主、横山当義死亡のため閉校となる。

10月9日　小出小弥太が本所亀沢町に私立「盈科学校」を開き、小学科を置く。

10月10日　横山光朝が実兄当義死亡のため、閉校となった「横山学校」を再開する。

10月12日　村立「寺島小学」が寺島村に開校する。（児童数約八〇名）

10月21日　斎藤長宜が本所林町に私学「成量学校」を開き、数学を教える。

11月11日　私立「両国小学」の分校が本所北二葉町に設立される。

12月18日　私立「矢口学校」が校主、矢口記陽病身のため閉校となる。

12月　石久保久右衛門が本所亀沢町に私学「素行学校」を開き、漢学を教える。

※　この年、武井頼功が本所南二葉町に私学「量平舎」を開き、数学を教える。

※　この年、萩原敬之が本所緑町に私学「巻懐塾」を開き、経学、史学、文章を教える。

1月15日　島津義禎が本所石原町に私学「三余夜学校」を開き小学科を置く。

1月31日　佐藤敬吉が本所中之郷原庭町東盛寺内に、私立夜学校「蕉蹟義塾」を開き、皇漢学を教える。

2月4日　私立「柿沼学校」が閉校となる。

2月7日　村立「寺島小学」で校費補助の一策として、学校世話係が無尽講を始める。

2月16日　私立「盈科学校」が都合により閉校となる。
2月20日　宮崎誠が本所緑町に私立簿記学校「三省学舎」を開き、単複簿記、簿記用算術を教える。
2月28日　公立「墨陀小学」が「寺島小学」に併合され廃校となる。
2月29日　私学「数学教授所」が筧正文病気のため閉校となる。
2月　橋本彦太が本所林町に私学「誠義学校」を開き算術を教える。
4月8日　井上藤吉が本所番場町に私立「志育小学」を開き、小学科を置く。
4月15日　私学「浪波津学舎」が都合により閉校となる。
4月15日　矢田重次郎が押上村に私立「浪速津学校」を開き、読書、習字、算術を教える。
5月1日　私学「共立学舎」が波多野伝三郎の都合により閉業となる。
6月8日　私学「成量学校」が都合により閉業となる。
6月24日　私立夜学校「蕉蹟義塾」が教員の都合により当分の間、休業となる。
7月1日　私立簿記学校「三省学舎」が都合により閉業となる。
7月22日　私学「誠義学校」が閉校となる。
9月16日　千野忠秀が本所番場町に私立「共潤小学」を開き、小学科を置く。
10月14日　私学「素行学校」が住居移転のため閉校となる。
10月19日　私学「三余夜学校」が「洪業義塾」と改称する。
10月25日　私立「共潤小学」が都合により閉校となる。
11月20日　私立「両国小学」が校主、松浦明谷死亡のため閉校となる。
11月20日　松浦文谷が私立「両国分校」を「両国小学」と改称して開校する。

明治13年（1880）	明治14年（1881）	明治16年（1883）
11月23日 私立「志育小学」が教員の都合により閉校となる。	4月 公立「本所小学」が小学教科を分けて、初等、中等、高等科と定める。	3月 坂入まつが本所亀沢町に私立「亀沢小学」を設立する。
※ この年、久保正尚が本所石原町に私立「久保小学」を開き小学科を置く。	9月 公立「牛島小学」の新校舎が小梅村に完成する。	6月1日 廃校の公立「墨陀小学」が「寺島小学」から分離し、隅田、若宮、善左衛門、三村連合の公立「隅田小学校」として大字隅田字堤外に開校する。
※ この年、河合秉棻が本所緑町に私立「琢成学校」を開き、英語、独逸学、数学を教える。	10月1日 梅田覚四郎が本所林町に私学「聞天社」を開き、英学普通学科、政治学を教える。	7月13日 私立「江幡小学」を改めて、大畑、上木下川、下木下川、木ノ下の四連合村立小学校とする。（児童数五〇名、校舎は正覚寺）
※ この年、山本貞蔵が本所横川町に私立「敬愛小学」を開き、読書、習字、算術、裁縫、記簿法を教える。	10月 「江東小学」に府下最初の付属幼稚園が設置される。	9月6日 私立「浪速津小学」が村立「浪速津小学校」として発足し開校式を挙げる。
	11月26日 西脇清房が本所徳右衛門町に私立「西脇学校」を開き、尋常小学科を置く。	

明治17年（1884）	明治18年（1885）	明治19年（1886）
4月　斎藤寿三郎が本所松坂町に私立「江東義塾」を開き、数学、英文、漢文を教える。 5月　高橋孝次郎が本所林町に私立英学校「脩文舎」を開き、英文学、地理、歴史、性理化学を教える。。 9月　津田文三が本所相生町に私立「欽崇塾」を開き、修身、漢文を教える。 12月　阪井市太郎が本所亀沢町に私立「記簿舎」を開き、簿記を教える。	3月28日　公立「隅田小学校」が隅田村一、五四五番地に移転する。 6月　酒井忠量が本所原庭町に私立「弘通数理館」を開き、純正数学、天文学、陸海測量学、図学を教える。 7月　安藤良之助が本所徳右衛門町に私立「啓蒙塾」を開き、修身、漢文を教える。 8月　新倉保忠が本所林町に私立「英進夜学校」を開き、修身、漢文、読書、算術を教える。 11月　遠藤秀之助が本所林町に私立夜学校「発蒙舎」を開き、読書、算術、習字を教える。	2月　小林専三郎が本所清水町に私立「用久小学校」を開き、小学初等科を置く。 3月15日　公立「中和小学校」に付属幼稚園を設置する。 3月　加藤福次が本所林町に私立「英進小学校」を開き、小学初等科を置く。 3月　公立「隅田小学校」の増築校舎が有志の寄付によって完成する。（木造平屋） 4月10日　小学校、中学校、師範学校令を公布し、小学校令により尋常小学校四年、高等小学校四年年二段階、尋常小学校の課程を義務教育とする。

明治19年（1886）	明治20年（1887）	明治21年（1888）
4月 「本所小学校」が小学教科を尋常、高等二科に分ける。	1月 「立志小学校」と「柳島小学校」が合併し「松柳小学校」と改称する。	2月15日 「松柳小学校」が廃校となり、旧柳島小学校を「本所小学柳島分校」とし、旧立志小学校を「中和小学松代分校」とする。
8月 伊藤八郎が本所石原町に「稽古所」を開く。	3月 「中和小学校」が高等科に英語科を加える。	3月30日 「浪速津小学校」の新校舎が柳島村に完成する。
8月 伊藤清廉が本所石原町に私立「開発小学校」を開き、小学初等科を置く。	5月 松本直方が本所松倉町に私立「松倉小学校」を開き、尋常小学科を置く。	4月1日 「隅田小学校」が「隅田尋常小学校」と改称する。（児童数七九名）
10月 「寺島小学校」が高等科を設置し、「寺島尋常高等小学校」と改称する。		4月1日 村立「江幡小学校」が町村制施行により、四か村が合併し大木村となり「大木尋常小学校」と改称する（児童数六〇名）
11月24日 「江東小学校」が成績優良校となり、皇太子嘉仁親王（大正天皇）の臨校があった。		4月1日 私立「開発尋常高等小学校」が本所外手町に移転する。（児童数二〇〇余名）
11月 「中和小学校」が尋常科四学級、高等科三学級を編制する。		
12月3日 「中和小学校」が校舎増築落成式を挙行する。（児童数二四八名）		

	5月　「明徳小学校」が若宮町に「若宮分教場」を設立する。
明治22年（1889）	
1月1日	本所区内の公立小学校教員の制服が定められる。
2月	「本所小学校」が本所花町に分校を設立する。
4月	「牛島学校」が「東京市牛島尋常高等小学校」と改称する。
5月	「寺島尋常高等小学校」の木造平屋建校舎が完成する。
8月12日	「隅田尋常小学校」の新築校舎が完成する。
9月11日	「隅田尋常小学校」の新築校舎が暴風雨のため全壊する。
11月	「隅田尋常小学校」の再築校舎が完成する。
※	この年、「江東小学校」がパリ万国博覧会に児童の作品を出品し、フランス大統領から感謝状、銅牌を贈られる。
明治23年（1890）	
2月9日	「牛島尋常高等小学校」に両陛下のご真影が下賜される。
2月10日	「中和小学校」「寺島尋常高等小学校」に両陛下のご真影が下賜される。
7月	コレラが大流行し、本所区では各小学校を巡回し、予防法の説明会を行う。（本所区内死者二三一人に達す）
10月7日	小学校令改正を公布する。（明治一九年の小学校令を廃止） 小学校は市内各区の区有施設となる。
10月7日	郡に郡視学、市町村に学務委員を置く。

明治23年（1890）	明治24年（1891）	明治25年（1892）
10月30日 「教育ニ関スル勅語」が発布される。		
10月31日 文部省が「教育ニ関スル勅語」の謄本を、全国の学校に下賜する。		
11月 「本所小学校」に両陛下のご真影が下賜される。		
12月27日 「中和小学校」「本所小学校」に教育に関する勅語の謄本が下賜される。		
12月 「明徳小学校」の一二教室改築校舎が完成する。（児童数約三八〇名）		
	3月31日 学区改正のため「中和小学校松代分校」を分離する。	
	4月1日 「明徳尋常小学校」が改正小学校令により「明徳尋常高等小学校」と改称する。	
	4月1日 「中和小学校」が改正小学校令により「中和尋常高等小学校」と改称する。	
	4月8日 村立「吾嬬尋常小学校」が吾嬬村小村井の「吾嬬学館」に新教室を増設して開校する。（児童数三五名）	
	※ この年、城所景定が吾嬬村小村井に、私塾「吾嬬学館」を開く。（第一吾嬬小学校の前身）	
		4月 教育義社設立の「簡易小学校」を本所小学校の分校とする。
		4月 「隅田尋常小学校」に教育に関する勅語の謄本が下賜される。
		2月13日 「牛島尋常高等小学校」が校舎改築落成式を挙行する。（来会者三〇〇余名）
		6月1日 村立「第二吾嬬尋常小学校」が吾嬬村請地に開校する。（児童数二〇名）
		6月2日 村立「吾嬬尋常小学校」が「第一吾嬬尋常小学校」と改称する。

明治26年（1893）	明治27年（1894）	明治29年（1896）
7月1日 「大木尋常小学校」が大字木下に「木下分教場」を設置する。	4月15日 「牛島尋常高等小学校」及び「第二吾嬬尋常小学校」が、向島須崎の大火により、校舎を全焼する。	3月22日 私立「博愛小学校」に「博愛夜学校」が設置され、普通学科を置く。
7月11日 「隅田尋常小学校」の増築校舎が完成する。	5月3日 「第二吾嬬尋常小学校」が仮校舎に移転する。	8月6日 私立「奥村尋常小学校」が「松坂尋常小学校」と改称する。
7月24日 「第二吾嬬尋常小学校」に教育に関する勅語の謄本が下賜される。	7月 「本所尋常高等小学校」の二教室増築が完了する。	9月15日 「第一吾嬬尋常小学校」が埼玉県足立郡花畑村の堤防決壊による浸水のため、一七日間の臨時休業となる。（床上浸水三尺）
12月15日 「第二吾嬬尋常小学校」に両陛下のご真影が下賜される。	11月27日 松浦ミタ外一名が本所中之郷瓦町に「東橋尋常小学校」を開き、尋常小学科を置く。	11月22日 「本所、深川連合教育会」が「東京教育談友会」と改称する。
12月15日 「大木尋常小学校」に両陛下のご真影が下賜される。	12月27日 「牛島尋常高等小学校」の新校舎が完成する。	

明治30年（1897）	明治31年（1898）	明治32年（1899）	明治33年（1900）
3月 平野鑑吉が本所永倉町に私立「国民夜学校」を開き、商工科、普通科を置く。 12月21日 「第二吾嬬尋常小学校」の新校舎が落成する。	3月31日 「本所小学校柳島分校」と「浪速津小学校」を合併して、市立「柳島尋常高等小学校」が設立される。 9月29日 「柳島尋常高等小学校」に両陛下のご真影が下賜される。同校がこの日を開校記念日と定め、新築校舎の落成式を挙行する。 11月 「隅田尋常小学校」の増築校舎が完成する。 12月21日 「柳島尋常高等小学校」に初めて校医を置く。	4月17日 「柳島尋常高等小学校」が第一回運動会を催す。 11月7日 「本所尋常高等小学校」の裁縫室から出火、校舎、備品を全焼する。 12月 「本所尋常高等小学校」が本所花町に仮校舎を設置して、授業を開始する。	5月11日 「柳島尋常高等小学校」に尋常科四学級、高等科二学級の編制が許可される。 5月 「府立職工学校」が本所林町に設立される。 8月20日 小学校令を改正。（尋常小学校を四年制に統一し、高等小学校は二年、三年、四年の三種とする）

明治34年（1901）

4月13日　「柳島尋常高等小学校」の増築校舎が完成する。
4月　「本所尋常高等小学校」の新校舎が落成する。
6月11日　「柳島尋常高等小学校」の授業料を、高等科八〇銭、尋常科二〇銭と定める。
9月6日　私立「鈴木尋常小学校」が「明華小学校」と改称する。
10月31日　「江東尋常高等小学校」の分校が廃止となる。
12月11日　「柳島尋常高等小学校」に有志団体による児童奨励会が設立される。

明治35年（1902）

2月4日　「府立第三中学校」（両国高校）が、京橋から本所柳原町の新校舎に移転する。
3月1日　「第一吾嬬尋常小学校」が香取神社の所有地に校舎を増築する。
3月1日　「第一吾嬬尋常小学校」が高等科を併置して、「第一吾嬬尋常高等小学校」と改称する。（尋常科二学級、高等科一学級）
3月　「中和尋常高等小学校」の校舎改築工事が完了する。
4月10日　「大木尋常小学校」が木下川に「大荒田分教場」を設置する。（児童総数九〇名）
4月29日　「隅田尋常小学校」が高等科を設置し「隅田尋常高等小学校」と改称する。
6月26日　「大木尋常小学校」の木下分教場を「第一分教場」、大荒田分教場を「第二分教場」と呼称する。
7月1日　私立「本所幼稚園」が設立する。
12月24日　「柳島尋常高等小学校」が瓦斯紡績会社のペスト病発生によって、一か月間の臨時休業となる。

		※　この年、山口浪江が私立「緑嶺学校」を本所緑町に開き、専修科と簡易科を置く。
	明治36年（1903）	
	2月　私立「東橋幼稚園」が設立する。	
	3月30日　「大木尋常小学校」の「第二分教場」が廃止となり、木下分教場に合併する。	
	3月　「隅田尋常高等小学校」が現校地に木造平屋建校舎を新築し、旧校舎より移転する。	
	6月4日　「横川尋常小学校」が中之郷横川町に開校する。	
	6月15日　「柳島尋常高等小学校」に同窓会が組織される。	
	10月22日　「三笠尋常小学校」が本所三笠町に、貧困家庭児童収容の小学校として開校する。（二学級、児童数一一六名）	
	10月　「三笠尋常小学校」に「三笠尋常夜学校」が設置される。	
	明治37年（1904）	
	3月10日　「茅場尋常小学校」の設立が認可される。	
	7月　「寺島尋常高等小学校」の木造平屋建校舎が完成する。	
	9月22日　「中和尋常高等小学校」が開校三〇年記念祝賀会を挙行する。	

明治38年（1905）

1月23日　本所区小学校連合祝捷大運動会（旅順開城のため）が、千歳町川岸埋地で、尋常科三年以上の児童六〇〇〇名の参加により挙行される。

4月8日　私立「開発尋常高等小学校」に付属幼稚園が設置される。

4月10日　「大木尋常小学校」に補習科（修業年限二か年）を設置する。

6月4日　「中和尋常高等小学校」に戦捷を記念して、児童保護者会が創立される。

6月25日　「江東尋常高等小学校」が、本所元町から本所相生町の「相生尋常小学校」「相生女子尋常小学校」の校舎に移転する。

11月27日　「二葉尋常小学校」が本所南二葉町に開校する。

12月26日　「柳島尋常高等小学校」の増築校舎が完成する。

※　この年、本所区教育会経営の「工業補習夜学校」「女子実業学校」が「開発尋常高等小学校に併設される。

明治39年（1906）

4月1日　「横川尋常小学校」に高等科が設置され、「横川尋常高等小学校」と改称する。

5月3日　「柳島尋常高等小学校」の校歌が、文部省から認可される。

9月30日　「本所尋常高等小学校」の「花町分教場」を廃止し、全児童を「三笠尋常小学校」に引き渡す。

10月3日　「横川尋常高等小学校」に両陛下のご真影が下賜される。

10月29日　「横川尋常高等小学校」の校歌が、文部省から認可される。

12月　「寺島尋常高等小学校」の木造平屋建校舎が完成する。

明治40年（1907）

※　この年、「三笠尋常小学校」の四教室並びに屋内体操場が完成する。

3月21日　小学校令を改正し、義務教育年限を四年から六年に延長、尋常小学校を六年、高等小学校を二～三年とする。（明治四一年四月から施行）

4月1日　「第二吾嬬尋常小学校」が初めて二学級編制となる。（児童数八九名）

4月　「牛島尋常高等小学校」が高等科を廃止して、「牛島尋常小学校」となる。高等科の生徒は「本所高等小学校」に転校となる。

6月15日　「第二吾嬬尋常小学校」の増築校舎が完成する。

6月22日　「中和尋常高等小学校」の校歌が、文部省から認可される。

6月　市立「第二工業補習夜学校」が、「中和尋常高等小学校」に開設される。

8月27日　「第一吾嬬尋常高等小学校」が、南綾瀬村堤防決壊による浸水のため、一か月間の臨時休業となる。（床上浸水三尺）

9月10日　「中和尋常高等小学校」の屋内体操場が完成する。

10月10日　「茅場尋常小学校」の校舎が本所茅場町に完成する。（児童数二六〇名）

※　この年、「中和尋常高等小学校」の付属幼稚園が「江東女子尋常高等小学校」の付属幼稚園に合併される。

2月　市立「江東幼稚園」が本所亀沢町に設立される。

3月31日　小学校令の一部改正により、高等小学校を分立する。各小学校は「東京市○○尋常小学校」

明治41年（1908）	明治42年（1909）
と改称する。	
3月31日 「本所尋常高等小学校」を「本所尋常小学校」と改称する。	
4月1日 「柳島尋常高等小学校」が高等科を廃止し「柳島尋常小学校」と改称する。	
4月1日 「明徳尋常高等小学校」を「明徳尋常小学校」と改称する。	
4月1日 「横川尋常高等小学校」を「横川尋常小学校」と改称する。	
4月1日 「中和尋常高等小学校」を「中和尋常小学校」と改称する。	
4月1日 市立「本所高等小学校」が創立され、「二葉尋常小学校」の校舎を使用する。（二葉尋常小学校は一時休校となる）	
4月1日 「寺島尋常高等小学校」の尋常科が六年制となる。（尋常科八学級四六三名、高等科三学級一〇一名）	
4月20日 「三笠尋常小学校」に夜間部一学級が設置される。	
4月 私立「本所商業補習夜学校」が本所表町に設立される。	
5月8日 「第一吾嬬尋常高等小学校」の増築校舎が完成する。（教室数五、児童数二三三名）	
	3月30日 「大木尋常小学校」が補習科を廃止し、修業年限六か年となる。
	4月 「第一吾嬬尋常高等小学校」が修業年限を、尋常科六か年、高等科二か年と定め、尋常科四学級、高等科一学級となる。（児童数二四三名）
	5月1日 市立「本所第一夜学校」が「横川尋常小学校」に開設される。
	5月21日 「相生尋常小学校」「相生女子尋常小学校」「江東尋常小学校」が合併して、「相生尋常

小学校」と改称する。（現両国小学校）

9月23日　「柳島尋常小学校」で市と本所区教育会共催による通俗講談会を開く。

12月18日　「明徳尋常小学校」の二〇教室改築校舎が完成する。（二一学級、児童数約一三〇〇名）

明治43年（1910）

3月31日　「本所尋常小学校」の一二教室、雨天体操場が完成する。

6月2日　私立「共立女子実業補習学校」を、本所区教育会付属私立「女子実業補習学校」と改称し、私立「開発尋常高等小学校」に移転する。

6月15日　私立「緑嶺学校」が本所長崎町に移転する。

8月11日　「柳島尋常小学校」が水害の難にあい、校舎、校具に多大の損害を受ける。（総損害額一九八七円四八銭五厘）

8月12日　「第一吾嬬尋常高等小学校」が荒川氾濫により一六日間の臨時休業となる。（床上浸水五尺）

10月　「寺島尋常高等小学校」の木造平建校舎が完成する。

4月1日　「本所高等小学校」が本所北二葉町の新校舎（木造二階建）に移転する。

4月1日　「二葉尋常小学校」が三年ぶりに、本所南二葉町の校舎で再開される。

4月4日　「牛島尋常小学校」が元「東橋小学校」に分教室を設置し、「東橋小学校」の児童八五名

明治44年（1911）	明治45年＝大正1年（1912）
を編入する。	
5月1日 「東京市本所第二夜学校」が「柳島尋常小学校」に設置される。	
6月 市立「本所簡易図書館」が「本所高等小学校」に開設される。	
7月26日 「柳島尋常小学校」の屋内体操場が暴風雨のため倒壊し、東、南校舎も傾斜する。	
8月30日 「中和尋常小学校」の運動場全部がアスファルトになる。	
10月10日 「江東女子尋常小学校」が「江東尋常小学校」に合併する。	
10月12日 本所区内小学校の連合運動会が陸軍糧秣廠で開かれる。	
	4月1日 「菊川尋常小学校」が市直営の学校として菊川町に開校し、貧困家庭児童対象の特殊小学校として発足する。
	4月8日 市立「第二工業補習夜学校」が「菊川尋常小学校」に移転する。
	4月8日 「江東尋常小学校」が緑町二丁目に移転し、「緑尋常小学校」と改称する。（一二学級、児童数一三〇〇余名）
	4月10日 「菊川尋常小学校」が授業を開始する。（一四学級、児童数七四三名）
	4月28日 「第二吾嬬尋常小学校」が吾嬬村の新校舎に移転する。（六学年六学級編制）
	5月14日 「東京市本所第三夜学校」が「明徳尋常小学校」に設置される。
	6月15日 「緑尋常小学校」が開校式を挙行し、この日を創立記念日と定める。
	6月 「東京市本所第四夜学校」が「菊川尋常小学校」に設置される。
	7月30日 明治天皇崩御。皇太子嘉仁親王践祚、「大正」と改元される。

9月13日	明治天皇ご大葬のため各校にて遙拝式を行う。
11月27日	「第一吾嬬尋常高等小学校」が「第一吾嬬尋常高等小学校」に、「第二吾嬬実業補習学校」が「第二吾嬬尋常小学校」に設置される。
12月27日	「寺島実業補習学校」が「寺島尋常高等小学校」に設置される。

大正2年（1913）

3月28日	「牛島尋常小学校」の校舎の増改築を完了する。
5月12日	「柳島尋常小学校」の第一期校舎改築工事が完了する。
5月	「緑尋常小学校」の校歌が制定される。
8月31日	「寺島尋常高等小学校」の木造平屋建校舎が完成する。（元柳島尋常小学校の校舎を購入したもの）
9月22日	「第一吾嬬尋常高等小学校」が吾嬬町葛西川に、三年計画による改築校舎の一部が完成して移転する。（二階建七教室、児童数三五〇名）
9月	中川与志が本所外手町に私立「修徳夜学校」を開き、国語、算術、地理、歴史を教える。
12月6日	「相生尋常小学校」が「相生尋常小学校」に合併する。

大正3年（1914）

3月31日	「相生尋常小学校」が「江東尋常小学校」と改称する。
5月1日	「牛島尋常夜学校」が「牛島尋常小学校」に設置される。
7月3日	私立「鐘ヶ淵幼稚園」が隅田村に設立される。
8月13日	「大木尋常小学校」が「第三吾嬬尋常小学校」と改称する。（大木村が吾嬬町に合併のた

大正3年（1914）	大正4年（1915）	大正5年（1916）
め。児童数三二二名） 8月15日　市立「中和図書館」が「中和尋常小学校」に開館する。 12月15日　「第三吾嬬尋常小学校」の新校舎が吾嬬町大畑に完成し、正覚寺及び木下分教場から移転する。	4月1日　「本横尋常小学校」が横川町に開校する。（二一学級） 4月25日　「第一吾嬬尋常高等小学校」の校舎改築が完了する。 8月1日　「第二吾嬬尋常小学校」の増築校舎が完成する。（一〇学級） 10月26日　「寺島尋常高等小学校」に両陛下のご真影が下賜される。 10月30日　私立「開発尋常高等小学校」が廃校となる。なお、併設の「開発実科女学校」と「開発幼稚園」は根来邸跡に移転する。 11月1日　市立「外手尋常小学校」が、「開発尋常小学校」の校舎を引きついで開校する。（児童数約五〇〇名） 11月9日　「中和尋常小学校」に両陛下のご真影が下賜される。	5月17日　「外手尋常小学校」の新校舎が完成する。（木造二階建） 9月　「第三吾嬬尋常小学校」の増築校舎が完成する。（六教室）

大正6年（1917）

3月31日　「茅場尋常小学校」の増築校舎が完成する。
4月1日　「菊川尋常小学校」に市営の女子補習科を付設する。
5月15日　「中和尋常小学校」の増築校舎が完成する。
8月30日　「柳島尋常小学校」の校庭アスファルト工事が完了する。
9月30日　「第一吾嬬尋常高等小学校」の平屋建校舎が、暴風雨により倒壊、二階建校舎も傾斜して一〇日間の臨時休業となる。
10月1日　「柳島尋常小学校」が風水害による避難民約一〇〇〇名を収容し、七日間の臨時休業となる。
10月25日　「本所尋常小学校」「江東尋常小学校」「柳島尋常小学校」に両陛下のご真影が下賜される。
10月　「隅田尋常高等小学校」の木造二階建二教室が完成する。

大正7年（1818）

3月31日　「業平尋常小学校」の校舎が中之郷業平町に完成する。
3月　「茅場尋常夜学校」が「茅場尋常小学校」に設置される。
4月1日　「第一吾嬬尋常夜学校」が「第一吾嬬尋常高等小学校」に設置される。
4月15日　「第二吾嬬尋常夜学校」が「第二吾嬬尋常小学校」に設置される。
4月　市立「本所実業補習学校」が「本所高等小学校」に設立される。
5月6日　「江東商業学校」が「江東尋常小学校」に設置される。
5月8日　「第一吾嬬尋常高等小学校」の校舎復旧、増築工事が完了する。

大正7年（1918）

6月1日　「太平尋常小学校」が太平町に開校し、貧困家庭児童を対象として発足する。（六学級、児童数約一五〇名）

6月1日　「寺島尋常夜学校」が「寺島尋常高等小学校」に設置される。

6月23日　「寺島尋常高等小学校」の木造平屋建校舎が完成する。

6月29日　「業平尋常小学校」が開校式を挙行する。

8月14日　「柳島尋常小学校」の屋内体操場が、内地米、外国米の廉売供給所にあてられ、一四日間運動場の開放を中止する。

9月1日　「第三吾嬬尋常夜学校」が「第三吾嬬尋常小学校」に設置される。

9月23日　「柳島尋常小学校」の職員主催による保護者を中心とする通俗講演会が開かれる。

9月24日　「柳島尋常小学校」が豪雨出水による避難民九〇〇余名を収容し、四日間の臨時休業となる。

11月11日　「柳島尋常小学校」が流行性感冒により五日間の臨時休業となる。

12月4日　「第三吾嬬尋常小学校」に両陛下のご真影が下賜される。

大正8年（1919）

2月7日　小学校令、中学校令を改正、とくに国民道徳の養成につとめ、予科の設置を認める。

4月1日　「太平尋常夜学校」が「太平尋常小学校」に設置される。

4月1日　「牛島尋常小学校」の児童数が二三八〇名の多きにのぼる。

4月11日　「菊川尋常小学校」が「猿江尋常小学校」（深川区）焼失のため、三年以上の児童を収容する。

5月9日	東京奠都五〇年祭につき臨時休業となる。
5月10日	東京市制施行三〇年祝賀祭につき臨時休業となる。
12月1日	「横川尋常小学校」で動的教育法の研究に着手する。

大正9年（1920）

4月1日	「小梅尋常小学校」が向島小梅町に開校する。（二三学級、児童数一三五〇名）
4月1日	「本所実業補習学校」が校名を「市立本所商工学校」と改称する。
4月	「寺島尋常高等小学校」の木造二階建校舎が完成する。
7月23日	「第三吾嬬尋常小学校」の第二期増築校舎が完成する。（六教室）
8月20日	「第二吾嬬尋常小学校」の増築校舎が完成する。
11月27日	「二葉尋常小学校」の屋内体操場が完成する。

大正10年（1921）

3月31日	「第二吾嬬尋常小学校」に高等科を併置して、「第二吾嬬尋常高等小学校」と改称する。
4月1日	「第三吾嬬尋常小学校」に高等科を併置して、「第三吾嬬尋常高等小学校」と改称する。（児童数八〇三名）
4月	「太平尋常小学校」に東伏見宮妃殿下がご来校される。
11月11日	「第二吾嬬尋常高等小学校」の増築校舎が完成する。
3月29日	私立「向島高等女学校」が寺島村に設立される。
4月1日	「菊川尋常小学校」に精神薄弱児を対象とする補助学級が設置される。（一学級）

大正11年（1922）

4月10日　「府立第七中学校」（現都立墨田川高校）が「寺島尋常高等小学校」の校舎の一部を借りて開校する。

4月30日　「寺島尋常高等小学校」の木造二階建校舎が完成する。

4月　「隅田尋常高等小学校」の木造二階建増築校舎が完成する。（一〇教室）

5月　「緑尋常小学校」が市内で最初の試みとして、手工業特別室を設け動力機械を導入する。

9月1日　「柳元尋常小学校」が柳島元町に開校する。（二三学級、児童数一五〇〇余名）

10月18日　「中和尋常小学校」に補助学級が設置される。

10月　「本所尋常小学校」に補助学級が設置される。

12月13日　「菊川尋常小学校」に皇后陛下のお思召をもって、金一封を下賜される。

大正12年（1923）

2月16日　「本所高等小学校」が鉄筋校舎建設工事に着手する。

3月7日　「横川尋常小学校」で第一回動的教育法（実験教育）公開研究会が開かれ、教育界の注目をあびる。

3月31日　市立「業平商工学校」が「業平尋常小学校」に設立される。

3月31日　「柳島尋常小学校」の増築校舎が完成する。（一六教室）

4月1日　本所区が公立小学校の授業料徴収を廃止する。

4月27日　「菊川尋常小学校」に収容の「猿江尋常小学校」の児童が、本校校舎完成により移転する。

5月1日　「隅田尋常夜学校」が「隅田尋常高等小学校」に設置される。

5月25日　「菊川尋常小学校」が「三笠尋常小学校」改築のため、三年以上の児童を収容する。

7月25日　「菊川尋常小学校」が虚弱児童のため、千葉県市川市国府台に林間学校を開設する。
7月30日　「中和尋常小学校」が房州保田に夏季の臨海団を開く。
7月31日　「本所尋常小学校」が「二葉尋常小学校」と合同で、房州千倉に海浜学校を開く。
8月5日　「第三吾嬬尋常高等小学校」の増築校舎及び屋内体操場が完成する。
9月1日　関東大震災による学校の被害状況は次のとおりである。

※本所高等小学校が校舎を全焼し、教員二名の死者を出す。
※茅場尋常小学校が校舎を全焼する。
※小梅尋常小学校が校舎を全焼し、職員四名、児童一一名の死者を出す。
※菊川尋常小学校が校舎を全焼する。
※緑尋常小学校が校舎を全焼し、教職員二名、児童二九四名の死者を出す。
※本横尋常小学校が校舎を全焼する。
※三笠尋常小学校が校舎を全焼する。
※柳島尋常小学校が校舎を全焼する。
※二葉尋常小学校が校舎を全焼し、教職員九名、児童行方不明七六五名、死者三五四名を出す。
※業平尋常小学校が校舎を全焼する。
※太平尋常小学校が校舎を全焼し、児童約一五〇名の死者、行方不明を出す。
※江東尋常小学校が校舎を全焼し、職員四名、児童約二五〇名の死者を出す。
※横川尋常小学校が校舎を全焼する。

※本所商工学校が校舎を全焼する。
※本所尋常小学校が校舎を全焼し、訓導、職員二名、児童約二〇〇名の死者を出す。
※外手尋常小学校が校舎を全焼し、訓導、職員四名、児童約五〇〇名の死者を出す。
※中和尋常小学校が校舎を全焼し、児童行方不明六〇名、死者七九名を出す。
※明徳尋常小学校が校舎を全焼し、訓導、児童等約一五〇名の死者を出す。
※柳元尋常小学校が新校舎を全焼し、訓導一名、児童七名の死者を出す。
※府立第三中学校が校舎を全焼し、三二名の死者を出す。
※隅田尋常高等小学校の五教室倒壊、九教室が大破する。
※第一吾嬬尋常高等小学校の東西校舎が傾斜する。
※第二吾嬬尋常高等小学校の六教室が倒壊する。行方不明児童約四〇〇名、一〇月七日まで休校とする。

9月11日　「本所商工学校」が生徒を集合する。（参集生徒二〇名）
9月25日　「柳元尋常小学校」が焼け跡で露天授業を開始する。
9月30日　「柳島尋常小学校」が焼け跡の校地に児童を召集、三九四名出席する。
9月30日　「中和尋常小学校」が焼け跡で露天授業を開始、児童一二六名参集する。
10月1日　「二葉尋常小学校」「太平尋常小学校」「柳島尋常小学校」「菊川尋常小学校」が相次いで露天授業を開始する。
10月2日　「小梅尋常小学校」「横川尋常小学校」「本横尋常小学校」の焼け跡に、罹災者収容の集団バラック住宅が建てられる。

10月3日　「本所尋常小学校」の焼け跡にバラック収容所を建て、罹災者七〇名を収容、のち一一八〇名の多きに達する。

10月3日　「緑尋常小学校」が焼け跡で露天学校を開き、児童三七名参集する。

10月5日　「横川尋常小学校」が露天及び天幕で授業を開始する。

10月5日　「太平尋常小学校」が羽仁もと子氏等の尽力により、児童に昼食を給する。

10月8日　「第二吾嬬尋常高等小学校」が講堂を使用して授業を開始する。

10月8日　「江東尋常小学校」が旧校舎跡に露天学校を開き授業を開始する。児童一五〇名参集する。

10月8日　「本所尋常小学校」がバラック収容所で授業を開始する。

10月9日　「外手尋常小学校」「中和尋常小学校」「本所尋常小学校」「業平尋常小学校」「二葉尋常小学校」「柳元尋常小学校」「茅場尋常小学校」の焼け跡に、罹災者用バラック住宅が建てられる。

10月11日　「小梅尋常小学校」が三囲神社境内で露天授業を開始、児童二一四名参集する。

10月15日　「外手尋常小学校」が露天教室で授業を開始する。

10月15日　「業平尋常小学校」が焼け跡で露天学校を開く。

10月16日　「明徳尋常小学校」が露天学校を開き授業を開始、児童二九三名参集する。

10月17日　「二葉尋常小学校」が罹災者収容バラックの一部を使用して授業を開始する。

10月18日　「本横尋常小学校」が露天授業を開始する。

10月21日　「第一吾嬬尋常高等小学校」が罹災校舎を修理する。

10月　「江東尋常小学校」が焼け跡で露天授業を開始する。

大正12年（1923）

11月5日　「小梅尋常小学校」が「牛島尋常小学校」の校舎の一部を借りて、授業を再開する。（児童数六二三名）

11月15日　「太平尋常小学校」に付属食堂が完成する。

11月30日　「菊川尋常小学校」のバラック校舎が完成する。（六教室）

12月1日　「太平尋常小学校」の仮校舎が完成する。

12月3日　「緑尋常小学校」が震災後、第一回の運動会を千葉県里見公園で挙行する。

12月7日　「柳島尋常小学校」のバラック校舎が完成する。

12月7日　「中和尋常小学校」の仮校舎が完成する。

12月7日　「菊川尋常小学校」が「三笠尋常小学校」「中和尋常小学校」の児童を収容する。

12月11日　「業平尋常小学校」の仮校舎が完成する。

12月12日　「江東尋常小学校」が遭難職員児童追悼式を挙行する。

12月　「本所商工学校」が「本横工業学校」「江東商業学校」と合併して仮校舎で授業を開始する。

12月　本所区内各小学校の仮校舎が、順次完成して授業を再開する。

1月10日　「菊川尋常小学校」が全校児童に給食を開始する。

1月17日　「外手尋常小学校」が本所若宮町の新築仮校舎で授業を開始する。

3月15日　「菊川尋常小学校」に収容の「三笠尋常小学校」の児童が仮校舎に移転する。

3月20日　「小梅尋常小学校」の新築仮校舎が完成する。

大正13年（1924）

3月24日　「菊川尋常小学校」に収容の「中和尋常小学校」の児童が仮校舎に移転する。
3月31日　「柳島尋常小学校」の仮校舎の増築が完了する。（平屋建バラック、第四校舎）
3月31日　「菊川尋常小学校」の第二期、第三期仮校舎が完成する。
4月1日　「寺島尋常高等小学校」が「第一寺島尋常高等小学校」と改称される。
4月1日　「府立第三中学校」（両国高校）内に私立「東京三中夜学校」が開校する。
4月17日　私立「鐘紡学校」が隅田町に開校する。
4月18日　「府立第七中学校」（墨田川高校）内に、私立「東京七中夜学校」が開校する。
4月20日　「第二寺島尋常小学校」が寺島町に開校し、「第一寺島尋常高等小学校」から児童一五九八名を引き継ぎ授業を開始する。（二六学級）
4月20日　「寺島尋常夜学校」が「第二寺島尋常小学校」に設置される。
4月　「隅田尋常高等小学校」の二階建六教室及び室内体操場が完成する。
5月26日　「中和尋常小学校」の屋内体操場が完成する。（バラックを改造）
7月10日　私立「両国幼稚園」が本所元町に設立される。
9月10日　「柳島尋常小学校」の仮校舎増築が完了する。（平屋建バラック、第五校舎）
9月18日　「本所尋常小学校」の仮校舎が完成する。
10月14日　「外手尋常小学校」の「第一分教場」が外手町の旧校舎敷地に設置される。
10月15日　私立「日本大学中学校」が神田から横網町に移転する。
12月8日　「二葉尋常小学校」の第一期仮校舎が北二葉町に完成する。
12月27日　「江東商業学校」（震災以後、本所高等小学校に併設）が廃校となる。

大正14年（1925）

1月24日　「二葉尋常小学校」が江東病院跡に第二期仮校舎を完成する。
3月15日　「本所高等小学校」の鉄筋三階建新校舎が完成する。
4月1日　「第三吾嬬尋常小学校」に高等科が設置される。
4月1日　「二葉尋常小学校」が旧校舎跡の仮校舎を増築して本校とし、旧高等小学校跡仮校舎を分教場とする。
4月13日　中学校以上で現役将校による学校教練が実施される。
4月23日　「外手尋常小学校」の「第二分教場」が北二葉町の旧本所高等小学校を借りて授業を開始する。
5月1日　「東京児童会館付属幼稚園」が向島小梅町に設立される。
6月12日　「吾嬬商業補習学校」が「第二吾嬬尋常高等小学校」に設置される。
7月11日　「第一吾嬬尋常高等小学校」の体操場及び一九教室の増築が完了する。（児童数一一六〇名）
7月11日　「第二吾嬬尋常高等小学校」の校舎増改築が完了する。
7月30日　「第一寺島尋常高等小学校」の新校舎が完成する。（鉄筋二階建）
7月30日　「第一寺島尋常高等小学校」の鉄骨鋼鉄板組立平屋体操場が完成する。
10月　私立「日本鉄道学校」が横網町に設立される。
11月5日　「第一寺島尋常高等小学校」に児童保護者会が創立される。
※　この年、「本所商工学校」の新校舎が完成する。

大正15年＝昭和1年（1926）

1月26日　「小梅尋常小学校」が校舎建設のため、向島須崎町の旧榎本邸跡の仮校舎に移転する。

3月31日　「隅田尋常高等小学校」に鉄筋三階建校舎が増築され、郡内最初の便所の浄化装置が設置される。（四四学級、児童数二五七九名）

4月1日　市直営の細民児童教育校、「菊川尋常小学校」「太平尋常小学校」「三笠尋常小学校」が、本所区に移管され普通尋常小学校となる。

4月6日　「三笠尋常小学校」が「日進尋常小学校」と改称する。

4月9日　私立「東京実習高等女学校」が南二葉町に設立される。

4月20日　青年訓練所令が公布される。

4月20日　「第三吾嬬商業補習学校」が「第三吾嬬尋常高等小学校」に設置される。

6月21日　「業平尋常小学校」が少年赤十字団を組織する。

6月29日　「二葉尋常小学校」が校舎建築工事のため分教場を閉鎖する。

7月1日　「本所第一青年訓練所」が「本所高等小学校」に、「本所第二青年訓練所」が「業平尋常小学校」に「隅田青年訓練所」が「隅田尋常高等小学校」に開設される。

7月7日　「隅田商工補習学校」が「隅田尋常高等小学校」に設立される。

9月6日　私立「東京実習高等女学校」が南二葉町に付属幼稚園を設置する。（木造二階建）

10月1日　「業平商工学校」に体育、音楽科を加設する。

12月8日　「第四吾嬬尋常小学校」及び「第五吾嬬尋常小学校」の設立が認可される。

12月15日　「外手尋常小学校」の鉄筋三階建新校舎が完成する。（児童数一三八九名）

12月25日　大正天皇ご崩御につき各学校で敬悼式を挙行する。

昭和２年（１９２７）

12月25日　大正天皇崩御。皇太子裕仁親王践祚、「昭和」と改元される。

1月13日　私立「向島幼稚園」が寺島町に設立される。

2月7日　大正天皇ご大葬のため各学校に遙拝所を設け、奉悼式を挙行する。

2月11日　「本所商工学校」が成績優良校として文部大臣から選奨される。

2月15日　私立「日本大学商業学校」が「日本大学中学校」に新設される。

2月28日　「柳島尋常小学校」に北米合衆国の児童から、使者としての人形を贈られる。

4月1日　「本所尋常小学校」に「緑尋常小学校」の「第一分教場」が設置される。

4月1日　「第四吾嬬尋常小学校」が吾嬬町小村井に開校し、「第二吾嬬尋常高等小学校」の校舎を借りて授業を開始する。（一八学級、児童数九一一名）

4月1日　「第五吾嬬尋常小学校」が開校し、「第三吾嬬尋常高等小学校」の校舎を借りて授業を開始する。（一一学級、児童数五五四名）

4月1日　「吾嬬商業補習学校」が「第二吾嬬尋常高等小学校」から「第四吾嬬尋常小学校」に移転する。

4月30日　「第五吾嬬尋常小学校」の新校舎が吾嬬町に完成する。（八教室）

5月6日　「小梅尋常小学校」の校舎が完成し仮校舎から移転する。

5月24日　「菊川尋常小学校」が菊川町二丁目の旧「こどもの国」遊園地に新設の仮校舎に移転する。

5月31日　「第三吾嬬商業補習学校」が廃校となり、青年学校が新設される。

6月15日　「第四吾嬬尋常小学校」の新校舎が完成する。（木造二階建、一九教室及び講堂）

昭和２年（１９２７）

6月20日　「第四吾嬬尋常小学校」が新校舎に移転し、この日を開校記念日と定める。

7月18日　「緑尋常小学校」が校舎建築のため、亀沢一丁目の仮校舎に一部児童を移し「第二分教場」とする。

7月30日　「第二寺島尋常小学校」の第一期増築校舎が完成する。（三三学級、児童数一九五八名）

8月20日　「二葉尋常小学校」の鉄筋三階建新校舎が、北二葉町に完成する。

9月　私立「東京家政専修学校」が東駒形四丁目に設立される。

10月12日　「二葉尋常小学校」が北二葉町の新校舎に移転する。

10月15日　私立「寺島幼稚園」が寺島町に設立される。

10月19日　「緑尋常小学校」の分教場が「二葉尋常小学校」に設置される。

10月　「日進尋常小学校」が校舎建築のため、「二葉尋常小学校」に移転する。

10月　「隅田尋常高等小学校」の分教場六教室（木造）が完成する。

11月1日　「太平尋常小学校」に学校奨励会が発足する。

11月11日　「柳島尋常小学校」が復興校舎建築のため、柳島横川町へ仮校舎を移転する。

11月13日　「隅田尋常高等小学校」の分教場が隅田町に開設する。（六教室）

11月15日　「業平尋常小学校」の鉄筋三階建新校舎が完成する。（児童数一二五九名）

11月　「江東尋常小学校」の鉄筋三階建校舎が完成する。

1月28日　「本横尋常小学校」の新校舎が完成する。

2月3日　「緑尋常小学校」の分教場が「江東尋常小学校」に設置される。

3月8日　「横川尋常小学校」で第五回動的教育公開研究会が開かれる。
3月11日　「柳元尋常小学校」の鉄筋三階建校舎が完成する。
3月15日　「中和尋常小学校」の鉄筋三階建校舎が完成する。
4月1日　「第三吾嬬尋常高等小学校」が吾嬬全町の高等科を統合する。
4月1日　「第一吾嬬尋常高等小学校」が「第一吾嬬尋常小学校」と改称する。
4月1日　「第二吾嬬尋常高等小学校」が「第二吾嬬尋常小学校」と改称する。
4月30日　「菊川尋常小学校」の鉄筋三階建校舎が完成する。
4月30日　「第一寺島尋常高等小学校」の児童数が三一二六名の多きにのぼる。
6月1日　「業平尋常小学校」に東久邇宮稔彦王殿下が来校される。
8月21日　「明徳尋常小学校」が校舎建築のため仮校舎を若宮公園に移転する。
9月25日　文部大臣が「業平尋常小学校」を視察する。
10月2日　「中和尋常小学校」「菊川尋常小学校」「小梅尋常小学校」「第三吾嬬尋常高等小学校」「第一寺島尋常高等小学校」「隅田尋常高等小学校」「第二吾嬬尋常小学校」に両陛下のご真影が下賜される。
10月13日　ご大典記念本所区内小学校連合展覧会が、「本横尋常小学校」で三日間開かれる。
11月10日　天皇即位式が挙行され、各学校は奉祝式を行う。
12月10日　「柳島尋常小学校」の鉄筋三階建校舎が完成する。
12月13日　ご大典市奉祝会のため各学校休業となる。
12月16日　「第三寺島尋常小学校」が寺島町に開校する。（鉄筋二階建校舎、二二教室及び講堂兼雨

天体操場）

12月28日　「太平尋常小学校」が太平一丁目に仮校舎が完成して移転する。

昭和4年（1929）

1月8日　「第三寺島尋常小学校」が「第一、第二寺島尋常小学校」から、児童一四二〇名を引き継ぎ授業を開始する。（二三学級）

2月28日　「柳元尋常小学校」の鉄筋三階建校舎が完成する。

3月15日　「菊川尋常小学校」の校歌並びに歌曲の採用が、文部省から認可される。

3月18日　「緑尋常小学校」の鉄筋三階建新校舎が完成し、児童全員を移転して授業を開始する。

4月25日　「第三寺島尋常小学校」に両陛下のご真影が下賜される。

5月30日　「日進尋常小学校」の校舎が完成し、「二葉尋常小学校」の校舎から移転する。

6月1日　「日進尋常小学校」が「本所高等小学校」の女生徒を収容して、「日進尋常高等小学校」と改称する。

6月3日　「本所尋常小学校」が「本横尋常小学校」及び南二葉町の仮校舎から新校舎に移転する。

6月16日　寺島町立「寺島図書館」が旧「第一寺島尋常高等小学校」の校舎を利用して開館する。

7月21日　「第三寺島尋常小学校」が夏季休業中、虚弱児童の養護及び学業の特別指導にあたる。

9月10日　「茅場尋常小学校」の鉄筋三階建校舎が完成する。（二一学級、児童数一一五六名）

9月21日　「第二吾嬬尋常小学校」の増築校舎が完成する。

9月　「第四吾嬬尋常小学校」の第一期増築校舎が完成する。（二階建八教室）

10月3日　「第五吾嬬尋常小学校」の第一期増築校舎が完成する。（普通教室一四、特別教室五、講

昭和4年（1929）	昭和5年（1930）
堂） 10月12日　寺島町小学校創立五〇周年記念祝賀式を挙行し、町立各小学校は運動会、展覧会、学芸会等を行う。 10月12日　「第一寺島尋常高等小学校」が開校五〇周年記念式典を挙行する。 11月19日　「太平尋常小学校」の鉄筋三階建校舎が、太平町二丁目に完成し、仮校舎から移転する。（児童数六八〇名） 11月20日　「太平尋常小学校」が「錦糸尋常小学校」と改称する。（一五学級） 11月25日　「明徳尋常小学校」の鉄筋三階建校舎が完成する。 12月20日　「横川尋常小学校」の鉄筋三階建校舎が完成する。	3月26日　帝都復興祭が挙行され、各学校は祝賀式を行う。 3月31日　市立「中和図書館」が「中和尋常小学校」から、「明徳尋常小学校」に移転する。 4月1日　「隅田尋常高等小学校」の児童数が、五六学級、三四四名の多きに達する。 4月　私立「隅田幼稚園」が隅田町の円徳寺に設立される。 8月1日　私立「錦糸幼稚園」が太平町に設立される。 8月7日　「第三寺島尋常小学校」の鉄筋二階建増築校舎が完成する。（一〇教室） 10月30日　「横川尋常小学校」に学校単位としては東京で初めての「横川少年団」が結成される。（団員は三年以上の男子八〇余名） 10月　市立「中和図書館」が「東駒形図書館」と改称する。

昭和6年（1931）

2月　社団法人「菊川幼稚園」が柳原町に設立される。

2月　私立「帝国家政女学校」が向島一丁目に設立される。

3月30日　「隅田第二尋常小学校」（前身は隅田尋常高等小学校分教場）の校舎が完成し開校式を行う。（児童数一四六二名）

3月31日　「日進尋常高等小学校」「菊川尋常小学校」「錦糸尋常小学校」の補習科が廃止となる。

3月　「第一実業補習学校」が本所亀沢町に設立される。

4月21日　「中和尋常小学校」「菊川尋常小学校」「第一寺島尋常高等小学校」「第三寺島尋常小学校」「隅田尋常高等小学校」「第二吾嬬尋常小学校」「第三吾嬬尋常高等小学校」「第四吾嬬尋常小学校」に改めて両陛下のご真影が下賜される。

4月21日　「隅田第二尋常小学校」に教育勅語が下賜される。

4月　「本所区第一実業女学校」（三年制）が「日進尋常高等小学校」に設立される。

4月　財団法人「六踏園修徳商業学校」が東駒形一丁目に設立される。

12月15日　「隅田第二尋常小学校」に両陛下のご真影が下賜される。

昭和7年（1932）

4月15日　「第五吾嬬尋常夜学校」が「第五吾嬬尋常小学校」に設置される。

5月27日　「菊川尋常小学校」が創立二〇周年記念式典を挙行する。

7月5日　「寺島実業専修女学校」が「第三寺島尋常小学校」に設立される。

8月　私立「国東幼稚園」が亀沢町に設立される。

9月30日　「第二寺島尋常小学校」の第二期増築校舎が完成する。（四一学級、児童数二三八四名）

昭和7年（1932）

10月1日　三五区制の実施により、向島区が誕生し、東京市編入の町村立学校を市立学校と改称する。
10月1日　各学校で大東京市郡併合祝賀式を挙行する。
11月14日　「第三吾嬬尋常高等小学校」の増築中校舎が、台風のため全壊する。
11月15日　「第一吾嬬尋常小学校」の新築校舎が、暴風雨のため倒壊する。
11月　「東京保善商業、工業学校」の鉄筋四階建新校舎が、横網二丁目に完成する。
※　この年、「本所高等小学校」に本所区教育会のプールが完成する。

昭和8年（1933）

1月25日　市立尋常夜学校を区に移管する。（本所区八校、向島区六校）
2月2日　「横川尋常小学校」が動的教育研究会を公開し、集大成「教育指探」を刊行する。
2月　「第四吾嬬尋常小学校」の第二期増築校舎が完成する。（二階建六教室）
3月30日　「第二吾嬬尋常小学校」の増築校舎が完成する。
3月30日　「第五吾嬬尋常小学校」の第二期増築校舎が完成する。（八教室）
3月31日　「日進尋常高等小学校」の尋常科が廃止される。
3月31日　「第一吾嬬尋常小学校」の新校舎が完成する。
3月31日　「第三吾嬬尋常高等小学校」の増築校舎が完成する。（七教室）
3月31日　私立「東京三中夜学校」及び私立「東京七中夜学校」が、府に移管されて府立「三中夜間中学校」「七中夜間中学校」と改称される。
4月1日　「日進高等小学校」の夜学校が「二葉尋常小学校」に移転する。

昭和8年（1933）

4月1日　「第二寺島尋常小学校」が校舎の一部を「隅田尋常高等小学校」に貸与する。
4月10日　「第三吾嬬尋常高等小学校」の児童数が、尋常科一八四〇名、高等科一一七〇名、計三〇一〇名の多きに達する。
4月25日　「隅田尋常高等小学校」から出火し、校舎二棟、一六教室を焼失する。
4月30日　「第一吾嬬尋常小学校」の児童数が二九〇四名の多きに達する。
10月19日　「本所尋常小学校」「錦糸尋常小学校」「柳島尋常小学校」「緑尋常小学校」に、両陛下のご真影が下賜される。
12月9日　「隅田尋常高等小学校」の焼失校舎が再建される。（二階建一六教室）

昭和9年（1934）

1月27日　「隅田尋常高等小学校」が開校五〇周年記念、復旧校舎落成式を挙行する。
2月7日　「第四吾嬬尋常小学校」の第三期増築校舎が完成する。（二階建八教室）
4月1日　「向島中川尋常高等小学校」が、吾嬬町東に開校する。（第三吾嬬、第五吾嬬両校の一部児童が転入）
4月1日　「第三寺島尋常小学校」が「第一寺島尋常高等小学校」の高等科女子を転入させ、「第三寺島尋常高等小学校」と改称する。
4月1日　「隅田第二尋常小学校」の増築校舎が完成する。（八教室）
4月2日　「向島更正尋常小学校」が開校する。（第五吾嬬、隅田第二、第三寺島の三校の児童が転入。三四学級、児童数一九二七名）
4月2日　「向島曳舟尋常小学校」が開校する。（第一寺島、第三寺島、第二吾嬬、第四吾嬬の四校

昭和9年（1934）

の児童が転入。三一学級、児童数一八四八名）

4月4日　「柳島尋常小学校」に「本所高等小学校」の分教室が設置される。

5月　市立「本所第三青年訓練所」が「緑尋常小学校」に設置される。

9月22日　「中和尋常小学校」が創立六〇周年記念式典を挙行する。

10月10日　「本所尋常小学校」が創立六〇周年記念式典を挙行する。

10月22日　「向島曳舟尋常小学校」に両陛下のご真影が下賜される。

10月23日　「向島更正尋常小学校」に両陛下のご真影が下賜される。

昭和10年（1935）

4月1日　青年学校令が公布される。（実業補習学校及び青年訓練所を廃止）

4月1日　「隅田尋常夜学校」が「隅田第二尋常小学校」に移管される。

4月20日　「向島女子商業学校」が区立三年制実業学校として寺島町に開校する。（向島商業高校の前身）

5月14日　「明徳尋常小学校」が創立六〇周年記念式典を挙行する。

6月14日　「請地尋常小学校」が吾嬬町西三丁目に開校する。

10月1日　実業補習学校と青年訓練所を統合して青年学校が開校する。

10月1日　本所区立「業平工業学校」が設立認可され、区長が校長事務を取り扱う。

10月1日　「緑尋常小学校」に併設の青年訓練所が、市立「本所区第三青年学校」と改称する。

10月1日　「第一寺島尋常高等小学校」に併設の「寺島商工専修学校」が「寺島青年学校」と改称する。

昭和10年（1935）	昭和11年（1936）	昭和12年（1937）
10月1日 「第四吾嬬尋常小学校」に併設の「吾嬬商業補習学校」が「吾嬬青年学校」と改称する。	1月8日 「向島梅若尋常小学校」が隅田町に開校する。（二四学級、児童数一三二二名）	2月1日 「言問尋常小学校」が向島須崎町に開校する。（牛島尋常小学校から六四七名、小梅尋常小学校から三九四名の児童が転入）
10月10日 「本所区第一実業女学校」が四年制の甲種実業学校に昇格、「東京市本所高等実践女学校」と改称する（本所高校の前身）	7月 「江東尋常小学校」のプールが完成する。	4月1日 「向島木下川尋常小学校」が吾嬬町東七丁目に開校する。（二〇学級、児童数一〇二六名）
※ この年、「横川尋常小学校」に本所区唯一の「養護学級」が編制される。	9月10日 「第一吾嬬尋常小学校」の改築校舎が完成する。	4月1日 「小梅尋常小学校」に高等科女子一三学級が併置され、「小梅尋常高等小学校」と改称する。
	12月18日 「向島大畑尋常小学校」が吾嬬町西六丁目に開校する。	4月1日 区立「本所業平工業学校」が東京市に移管される。
		4月 私立「千代田青年学校」が吾嬬町東七丁目に設立される。
		5月25日 大東紡織亀戸「淑徳女学校」が青年学校として、吾嬬町東二丁目に設立される。

9月21日	「向島曳舟尋常小学校」の校歌が文部省から認可される。
10月2日	本所区臨海学園が千葉市登戸に開園され、小学校の虚弱児童の校外養護施設となる。（健康学園の前身）

昭和13年（1938）

3月31日	市立「向島工業学校」が設立される。
6月29日	「第一吾嬬尋常小学校」が豪雨により、校庭が二尺余の浸水で一週間の臨時休業となる。
9月10日	「第一吾嬬尋常小学校」が豪雨のため浸水し六日間の臨時休業となる。
10月26日	「言問尋常小学校」に両陛下のご真影が下賜される。

昭和14年（1939）

1月19日	「橘尋常小学校」が吾嬬町東二丁目に開校する。
4月1日	「言問尋常小学校」に高等科が設置され「言問尋常高等小学校」と改称する。（新入生二九六名と本所高等小学校から二九七名転入、高等科一一学級）
4月1日	「業平工業学校」が「市立本所工業学校」と改称する。
4月1日	「柳元尋常小学校」が「柳元尋常高等小学校」と改称する。
4月26日	青年学校令を改正し青年学校を義務制とする。
5月22日	「青少年学徒ニ賜ハリタル勅語」が下賜される。（勅語の聖旨奉戴を訓令）
5月29日	文部省が小学校五、六年及び高等科男子に武道（柔・剣道）を課する。
6月1日	「本所区第四青年学校」が「茅場尋常小学校」に設置される。

昭和14年（1939）	昭和15年（1940）	
6月1日 「本所区第五青年学校」が「小梅尋常高等小学校」に設置される。	1月12日 「府立第三中学校」に「府立第十六中学校」が設置される。	3月1日 国民学校令が公布される。（国民教育の戦時体制の強化）
6月20日 「第三吾嬬尋常高等小学校」の改築校舎が完成する。	1月12日 「府立第七中学校」に「府立第十七中学校」が設置される。	4月1日 国民学校令の施行により、小学校を国民学校と改称する。
7月1日 「向島区中川青年学校」が「向島中川尋常高等小学校」に設置される。	4月8日 「第一吾嬬尋常小学校」が開校五〇周年記念式典を挙行する。	4月1日 「向島東部国民学校」が「第三吾嬬国民学校」高等科女子の半数を受け入れる。
7月1日 「向島区更正青年学校」が「向島更正尋常小学校」に設置される。	7月11日 「向島曳舟尋常小学校」の増築校舎が完成する。	
10月28日 「第二吾嬬尋常小学校」の校歌が文部省から認可される。	8月 「業平尋常小学校」が千葉県市川市中山に、校外学園を開設し毎月農事作業を学習する。	
12月20日 市立「向島工業学校」の新校舎が吾嬬町東四丁目に完成し、「請地尋常小学校」から移転する。	12月7日 「向島東部高等小学校」が吾嬬町東五丁目（向島中川尋常高等小学校所在地）に開校する。	
	12月27日 「向島西部高等小学校」が寺島町五丁目に開校する。	

昭和16年（1941）

4月1日　「向島西部国民学校」が「第一寺島国民学校」高等科全生徒を受け入れる。
4月1日　「本所高等小学校」が「本高国民学校」と改称する。
4月1日　「本所第七青年学校」が「菊川国民学校」に設置される。
4月1日　「本所第八青年学校」が「本横国民学校」に設置される。
4月1日　「府立三中夜間学校」が「府立桂友中学校」と改称する。
4月1日　「府立七中夜間学校」が「府立進思中学校」と改称する。
4月1日　私立「帝国発条青年学校」（寺島町四丁目）が「大同製鋼東京青年学校」と改称する。
4月5日　私立「丸二製作所青年学校」「佐々木硝子誠盟青年学校」の設立が認可される。
4月12日　「東洋紡績向島青年学校」の設立が認可される。
5月28日　「横川国民学校」で三年生以上の全児童を対象とした「新横川少年団」が結成される。
7月1日　「向島中川国民学校」が高等科を分離して現在地に校舎を新築する。（高等科は向島東部国民学校に編入）
11月25日　「向島区曳舟青年学校」の設置が認可される。（向島曳舟国民学校内）
12月8日　太平洋戦争起こる。（米英に宣戦布告）
12月18日　「向島木下川国民学校」に両陛下のご真影が下賜される。

昭和17年（1942）

1月9日　国民勤労報国協力令施行規則に基づく学徒動員命令出る。
1月22日　「三囲国民学校」が開校し新校舎で授業を開始する。
4月18日　米軍機による最初の日本本土空襲が行われる。

昭和18年　（1943）

6月　「本所高等実践女学校」の新校舎が小梅三丁目に完成する。
7月1日　「向島木下川国民学校」のプールが完成する。

1月8日　「小梅国民学校」の高等科が廃止される。
2月11日　「第三吾嬬国民学校」が訓育実績顕著のため、東京市長から表彰される。
3月14日　「第二吾嬬国民学校」が市川市真間に学校農園を開く。
4月1日　「桂友中学校」が「府立第三中学校二部」と改称する。
4月1日　「進思中学校」が「府立第七中学校二部」と改称する。
5月3日　「府立第三中学校」内の「府立第十六中学校」が江戸川区西小松川に移転する。
5月10日　「第二吾嬬国民学校」が創立五〇周年記念式典を挙行する。
6月25日　学徒戦時動員体制確立要綱が決定される。（本土防衛のため軍事訓練と勤労動員を徹底）
7月1日　東京都制が施行されて市立学校が都立学校となる。
7月30日　文部省が女子学徒動員を決定する。
8月　「寺島図書館」が改築のため「第七中学校」に移転する。
12月1日　第一回学徒入隊。（学徒出陣）
※　この年、国民学校の児童に防空訓練が実施され、モンペ防空ずきんの通学となる。

1月10日　文部省が国民学校教育の戦時非常措置について通達を出す。
1月26日　防空法による疎開命令を発令する。

2月4日　文部省が軍事教育の強化方針を発表する。
3月10日　東京都教育局長が「学童疎開奨励に関する件」の通達を出す。
3月16日　東京都教育局長が「学童疎開勧奨方の件」を各区長あて通達する。
3月31日　「柳元国民学校」が廃校となる。
3月31日　「第一吾嬬、第二吾嬬、第五吾嬬国民学校」に設置の国民夜学校が廃校となる。
4月1日　学徒勤労動員が実施される。
4月1日　都が国民学校児童に給食を実施する。
4月1日　「緑国民学校」「中和国民学校」「業平国民学校」「柳島国民学校」「言問国民学校」「小梅国民学校」「第四吾嬬国民学校」が給食を開始する。
4月1日　「都立第七中学校」内の「都立第十七中学校」が、日本橋箱崎町に移転する。
4月1日　「都立本所工業学校」が「業平国民学校」から旧「柳元国民学校」に移転する。
4月1日　「業平国民学校」に総理大臣東條英機来校する。
4月1日　この日現在の縁故疎開学童数は、本所区三一五二名、向島区二六三六名に達する。
4月30日　本所区「日進実践女学校」が「日進女子青年学校」と改称する。
6月3日　「隅田第二国民学校」が両陛下のご真影を、現下の状勢にかんがみて、都下西多摩郡「五日市国民学校」に奉遷する。
6月30日　大都市からの学童疎開の方針が決定される。
7月8日　「学童疎開実施要綱」が発表される。
7月10日　学童疎開の割りあて人数が、本所区は千葉県に一万名、向島区は茨城県に一万名ときまる。

7月20日　「第一吾嬬国民学校」の児童が、茨城県久慈郡大子町、宮川村に疎開する。
7月25日　「第一寺島国民学校」の児童が、茨城県猿島郡境町、岩井町、西茨城郡宍戸町に疎開する。
8月5日　「第二寺島国民学校」の児童が、茨城県稲敷郡竜ヶ崎町、馴柴村、根本村、瑞穂村に疎開する。
8月12日　「第二吾嬬国民学校」の児童が、茨城県結城郡石下町、下妻町に疎開する。
8月15日　「向島梅若国民学校」の児童が、茨城県真壁郡真壁町、樺穂村、雨引村に疎開する。
8月15日　「第四吾嬬国民学校」の児童が、茨城県新治郡石岡町、行方郡玉造町、鹿島郡鉾田町に疎開する。
8月16日　「第三寺島国民学校」の児童が、茨城県行方郡潮来町、香澄村に疎開する。
8月16日　「隅田国民学校」の児童が、茨城県稲敷郡竜ヶ崎町、江戸崎町、沼里村に疎開する。
8月17日　「向島木下川国民学校」の児童が、茨城県西茨城郡笠間町、岩瀬町、西山内村に疎開する。
8月17日　「小梅国民学校」の児童が、千葉県君津郡松丘村、亀山村に疎開する。
8月18日　「第三吾嬬国民学校」の児童が茨城県結城郡結城町に疎開する。
8月18日　「第五吾嬬国民学校」の児童が、茨城県西茨城郡笠間町に疎開する。
8月20日　「横川国民学校」の児童が、千葉県君津郡久留里村、小櫃村、富岡村に疎開する。
8月22日　「向島更正国民学校」の児童が、茨城県真壁郡下館町に疎開する。
8月23日　「向島曳舟国民学校」の児童が、茨城県新治郡石岡町、東茨城郡沢山村、竹原村に疎開する。
8月23日　「向島木下川国民学校」が、両陛下のご真影を当局の指示により、都下西多摩郡「五日市国民学校」に奉遷する。

8月23日　学徒勤労令、女子挺身勤労令が公布される。（学校報国隊を組織）
8月24日　「中和国民学校」の児童が、千葉県君津郡秋元村、小糸村、周南村、環村に疎開する。
8月25日　「錦糸国民学校」の児童が、千葉県千葉郡生浜町、睦村、椎名村、豊富村に疎開する。
8月25日　「茅場国民学校」の児童が、千葉県山武郡芝山村、睦岡村、源村、豊岡村、大総村、二川村に疎開する。
8月26日　「柳島国民学校」の児童が、千葉県市原郡菊間村、湿津村、市原村、市東村に疎開する。
8月26日　「業平国民学校」の児童が、千葉県市原郡養老村、牛久町、内田村、鶴舞町、里見村、白鳥村に疎開する。
8月26日　「二葉国民学校」の児童が、千葉県長生郡茂原町、二宮本郷村、日吉村、豊栄村、長南町、水上村、鶴枝村、東村、土睦村に疎開する。
8月27日　「外手国民学校」の児童が、千葉県夷隅郡大多喜町、西畑村、上瀑村、中川村、千町村、国吉町、布施村に疎開する。
8月27日　「緑国民学校」の児童が、千葉県匝瑳郡匝瑳村、南条村、海上郡嚶鳴村、椎柴村、船木村、香取郡東城村、橘村、神代村、万才村、東葛飾郡小金町、富勢村に疎開する。
8月28日　「言問国民学校」の児童が、千葉県君津郡馬来田村、中川村、平岡村、鎌足村に疎開する。
8月28日　「第一寺島国民学校」が、両陛下のご真影並びに教育勅語の謄本を、現下の状勢にかんがみて、都下西多摩郡「五日市国民学校」に奉遷する。
8月29日　「江東国民学校」の児童が、千葉県香取郡香取町、府馬町、小見川町、神崎町、八都町、豊浦町に疎開する。

8月　「菊川国民学校」の児童が、千葉県山武郡土気町、大網町、東金町に疎開する。

8月　「明徳国民学校」の児童が、千葉県香取郡佐原町、大須賀村、香西村、東大戸村、瑞穂村、米沢村、神崎町、滑川町、小御門村、昭栄村に疎開する。

8月　「日進国民学校」の児童が、千葉市登戸、君津郡馬来田村に疎開する。

8月　「牛島国民学校」の児童が、千葉県市原郡五井町、千種村、東海村、市西村、海上村に疎開する。

8月　「本横国民学校」の児童が、千葉県印旛郡公津町、夷隅郡総野村、安房郡西条村、吉尾村に疎開する。

8月　「橘国民学校」の児童が、茨城県筑波郡北条町、筑波町、真壁郡真壁町に疎開する。

8月　「請地国民学校」の児童が、茨城県那珂郡神崎村、額田村、大宮町、崖郷村に疎開する。

8月　「向島中川国民学校」の児童が、茨城県久慈郡袋田村、大子町に疎開する。

8月　「隅田第二国民学校」の児童が、茨城県久慈郡太田町、河内村、賀美村に疎開する。

8月　「向島大畑国民学校」の児童が、茨城県行方郡潮来町に疎開する。

9月24日　この日現在の疎開学童数は本所区八〇八七名、向島区八二六一名である。

9月　「横川国民学校」に収容された旧「柳元国民学校」高等科の生徒が、勤労動員で専売局業平工場、精工舎等に配属される。

9月　「本所国民学校」の児童が、千葉県安房郡国府村、稲都村、豊田村、丸村に疎開する。

12月23日　皇后陛下から集団疎開学童に対して、激励のお歌並びにお菓子が下賜される。

2月24日　「中和国民学校」の疎開学寮長谷寺（千葉県君津郡小糸村）が空襲により焼失する。（児童は全員無事）

3月10日　東京大空襲、B29約一三〇機江東地区に焼夷弾を落下する。この空襲によって校舎を全焼した学校は次のとおりである。

牛島国民学校。明徳国民学校。本所国民学校。江東国民学校。二葉国民学校。菊川国民学校。本横国民学校。外手国民学校。業平国民学校。茅場国民学校。日進国民学校。横川国民学校。三囲国民学校。請地国民学校。橘国民学校。向島木下川国民学校。向島中川国民学校。向島大畑国民学校。第一吾嬬国民学校。第二吾嬬国民学校。第三吾嬬国民学校。第五吾嬬国民学校。向島東部国民学校。向島西部国民学校。本高国民学校。都立第三中学校。都立向島工業学校。都立本所高等実践女学校。都立向島女子商業学校。

3月10日　市立「本所図書館」が東京大空襲により焼失し廃館となる。

3月10日　集団疎開学童の六年生が、中学校受験のため帰京し、大空襲による多数の犠牲者を出す。

3月10日　「緑国民学校」が大空襲により講堂のみ焼失して難をまぬがれ、罹災者約四〇〇〇名を収容する。

3月10日　「柳島国民学校」が大空襲の難をまぬがれ、罹災者約三〇〇〇名を収容する。

3月10日　「小梅国民学校」が大空襲の難をまぬがれ、罹災者約一〇〇〇名を収容する。

3月10日　「錦糸国民学校」が大空襲により三教室を残して校舎を焼失する。

3月10日　「第二寺島国民学校」が大空襲により、音楽、裁縫両教室を焼失する。

3月10日　「中和国民学校」が大空襲により一教室焼失のみで難をまぬがれる。
3月10日　都立「本所工業学校」が大空襲により音楽室を焼失する。
3月10日　「第四吾嬬国民学校」が大空襲の難をまぬがれ、「第一吾嬬、第二吾嬬、第三吾嬬国民学校」等、罹災校の児童を収容して合同授業を開始する。
3月10日　「向島木下川国民学校」が校舎焼失のため、「第三寺島国民学校」に事務所を置く。
3月14日　「本所高等実践女学校」「三囲国民学校」が「小梅国民学校」に移転する。
3月15日　「二葉国民学校」が校舎焼失のため「緑国民学校」に事務所を置く。
4月13日　「向島更正国民学校」が空襲により一三教室を焼失する。
4月25日　「茅場国民学校」の児童が千葉県から、岩手県東磐井郡磐清水村に再疎開する。
4月27日　「二葉国民学校」の児童が、千葉県から岩手県東磐井郡千厩町、藤沢町に再疎開する。
4月27日　「第三寺島国民学校」の児童が、茨城県から秋田県平鹿郡浅舞町、沼館町、大森町へ再疎開する。
4月　「向島中川国民学校」の児童が、茨城県から秋田県河辺郡和田町に再疎開する。
5月1日　「第二寺島国民学校」の児童が、茨城県から秋田県仙北郡角館町、長野町に再疎開する。
5月4日　「第四吾嬬国民学校」の児童が、茨城県から秋田県平鹿郡横手町、十文字町、栄町に再疎開する。
5月5日　「向島木下川国民学校」の児童が、茨城県から秋田県由利郡矢島町に再疎開する。
5月7日　「向島曳舟国民学校」の児童が、茨城県から秋田県北秋田郡鷹ノ巣町、綴子村に再疎開する。

5月19日　「小梅国民学校」の児童が、千葉県から岩手県和賀郡二子村、更木村、立花村へ再疎開する。

5月19日　「言問国民学校」の児童が、千葉県から岩手県江刺郡黒石村に再疎開する。

5月19日　「第二吾嬬国民学校」の児童が、茨城県から秋田県大館町、扇田町に再疎開する。

5月20日　「隅田国民学校」の児童が、茨城県から秋田県鹿角郡花輪町、毛馬内町に再疎開する。

5月20日　「横川国民学校」の児童が、千葉県から岩手県湯口村志戸平温泉に再疎開する。

5月21日　「柳島国民学校」の児童が、千葉県から岩手県和賀郡笹間村（笹間国民学校寄宿舎）に再疎開する。

5月22日　「第三吾嬬国民学校」の児童が、茨城県から秋田県由利郡本荘町に再疎開する。

5月22日　「中和国民学校」の児童が、千葉県から岩手県西磐井郡平泉村、山ノ目村に再疎開する。

5月23日　「外手国民学校」の児童が、千葉県から岩手県稗貫郡湯口村志戸平温泉に再疎開する。

5月23日　「向島梅若国民学校」の児童が、茨城県から秋田県仙北郡六郷町、金沢町に再疎開する。

5月25日　「江東国民学校」の児童が、千葉県から岩手県東磐井郡大原村ほか二村に再疎開する。

5月25日　都立「第七中学校」が空襲により校舎を焼失する。

5月　「明徳国民学校」の児童が、千葉県から岩手県盛岡市等に再疎開する。

5月　「第一寺島国民学校」の児童が、茨城県から秋田県南秋田郡船越町、天王村、脇本村に再疎開する。

5月　「緑国民学校」の児童が、千葉県から岩手県東磐井郡松川村、長坂村、猿沢村に再疎開する。

5月　「錦糸国民学校」の児童が、千葉県から岩手県稗貫郡湯本村花巻（花巻青年学校寮）に再疎開する。

5月　「向島大畑国民学校」の児童が、茨城県から秋田県平鹿郡角間川町に再疎開する。

5月　「第五吾嬬国民学校」の児童が、茨城県から秋田県由利郡象潟町、金浦町に再疎開する。

5月　「橘国民学校」の児童が、茨城県から秋田県山本郡二ッ井町、鵜川村、森岳村、鹿渡町に再疎開する。

5月　「向島更正国民学校」の児童が、茨城県から秋田県仙北郡大曲町に再疎開する。

5月　「請地国民学校」の児童が、茨城県から秋田県雄勝郡西馬音内町、三輪村に再疎開する。

5月　「牛島国民学校」「本所国民学校」「本横国民学校」「菊川国民学校」の児童が、千葉県から岩手県に再疎開する。

6月1日　「第一吾嬬国民学校」の児童が、茨城県から秋田県五城目町に再疎開する。

6月20日　「小梅国民学校」に東部一三三一部隊が、校舎の一部を使用し常駐する。

6月25日　「業平国民学校」の児童が、千葉県から岩手県和賀郡湯田村の恵周園に再疎開する。

7月7日　「隅田第二国民学校」の児童が、茨城県から秋田県由利郡下浜村、上浜村、本荘町に再疎開する。

7月24日　「中和国民学校」が残留児童七名を対象に授業を再開する。

8月10日　「中和国民学校」の疎開地が艦載機の大空襲を受ける。（児童に被害なし）

8月15日　終戦の詔書を放送、太平洋戦争が終る。

8月21日　文部省が戦時教育令の廃止を決定する。

8月23日　「第一寺島国民学校」が両陛下のご真影を宮内省に奉遷する。
9月5日　「小梅国民学校」に常駐の部隊が終戦により退去する。
9月6日　「向島木下川国民学校」の残留児童が、「第三寺島国民学校」の三教室を借りて授業を開始する。
9月10日　都立「第七中学校」が「言問国民学校」の校舎の一部を借りて授業を開始する。
9月18日　「言問国民学校」の校舎の一室を米国憲兵隊二〇名が宿舎として使用する。
9月　「柳島国民学校」で「業平、錦糸、本横、柳島国民学校」の残留児童を集めて合同授業を開始する。
9月　「向島中川国民学校」の児童が、秋田県の疎開地から復帰する。
10月12日　「柳島国民学校」の校舎（二一教室）を「安田工業学校」に貸与する。
10月22日　「向島曳舟国民学校」の児童が、秋田県の疎開地から全員復帰する。
10月22日　「第一寺島国民学校」の児童が、秋田県の疎開地から復帰する。
10月24日　「第二吾嬬国民学校」の児童が、秋田県の疎開地から全員復帰する。
10月25日　「第三吾嬬国民学校」の児童の一部が、秋田県の疎開地から復帰する。
10月25日　「第二寺島国民学校」の児童が、秋田県の疎開地から復帰する。
10月25日　「隅田第二国民学校」の児童が、秋田県の疎開地から復帰する。
10月26日　「第五吾嬬国民学校」の児童が、秋田県の疎開地から復帰する。
10月26日　「向島木下川国民学校」の児童が、秋田県の疎開地から復帰する。
10月27日　「第四吾嬬国民学校」の児童が、秋田県の疎開地から復帰する。

昭和20年（1945）

10月27日　「第三寺島国民学校」の児童が、秋田県の疎開地から復帰する。
10月28日　「向島梅若国民学校」の児童が、秋田県の疎開地から復帰する。
10月30日　「向島更正国民学校」の児童が、秋田県の疎開地から復帰する。
10月30日　「隅田国民学校」の児童が、秋田県の疎開地から復帰する。
10月　「第一吾嬬国民学校」の児童が、秋田県の疎開地から一部を残して復帰する。
10月　「緑国民学校」で「本所、江東、二葉、外手、日進、茅場国民学校」の残留児童を集めて合同授業を開始する。
11月1日　「中和国民学校」が在籍児童三〇名で授業を開始する。
11月1日　「向島木下川国民学校」が「第三寺島国民学校」（六教室）を借りて全児童の授業を開始する。
11月10日　「小梅国民学校」に「三囲、明徳、横川国民学校」の事務所が置かれる。
11月25日　「小梅国民学校」の児童が、岩手県の疎開地から復帰する。
11月　「業平国民学校」の児童が、岩手県下閉伊郡山田町に再々疎開する。
12月1日　「全日本教職員組合」が結成される。
12月2日　「日本教育者組合」が結成される。
12月23日　「東京都教員組合」（都教）が結成される。ただし、本所、向島両区とも参加せず。
12月27日　「第四吾嬬国民学校」が両陛下のご真影を宮内省に奉遷する。

1月15日　「向島曳舟国民学校」が「向島工業学校」に一五教室を貸与する。

1月22日　「向島曳舟国民学校」が学校給食を開始する。
3月1日　「錦糸国民学校」の児童が、岩手県の疎開地から復帰する。
3月10日　「横川国民学校」の児童が、岩手県の疎開地から復帰する。
3月11日　「二葉国民学校」の児童が、岩手県の疎開地から復帰する。
3月12日　「緑国民学校」の児童が、岩手県の疎開地から復帰する。
3月14日　「業平国民学校」の児童が、岩手県の疎開地から復帰する。
3月14日　「外手国民学校」の児童が岩手県の疎開地から帰京し、「上野国民学校」で解散式を行う。
3月14日　「第三吾嬬国民学校」の児童が、秋田県の疎開地から全員復帰する。
3月14日　「柳島国民学校」の児童が、岩手県の疎開地から復帰する。
3月15日　「両国国民学校」の児童が、岩手県の疎開地から復帰する。
3月15日　「江東国民学校」の児童が、岩手県の疎開地から復帰する。
3月15日　「言問国民学校」の児童が、岩手県の疎開地から復帰する。
3月15日　「中和国民学校」の児童が、岩手県の疎開地から復帰する。
3月27日　「第一吾嬬国民学校」の残留児童が、全員秋田県の川寺学寮から復帰する。
3月　「菊川国民学校」の児童が、岩手県の疎開地から復帰する。
3月　「茅場国民学校」の児童が、岩手県の疎開地から復帰する。
3月31日　「横川、牛島、錦糸、第三吾嬬、寺島国民夜学校」が廃校となる。
3月31日　次の国民学校一五校が廃校となる。

本所国民学校　日進国民学校　二葉国民学校　明徳国民学校　横川国民学校

三囲国民学校　菊川国民学校　茅場国民学校　江東国民学校　牛島国民学校
本横国民学校　向島中川国民学校　請地国民学校　向島大畑国民学校　橘国民学校

3月31日　都立「本所高等実践女学校」が都立「本所高等女学校」と改称する。

4月1日　都立「本所工業学校」が都立「深川工業学校」を合併する。

4月1日　「錦糸国民学校」が旧「茅場国民学校」を仮校舎として授業を開始する。（六学級、児童数一三五名）

4月1日　「第一吾嬬国民学校」が「第四吾嬬国民学校」を借りて授業を開始する。（児童数二三六名）

4月1日　「第三吾嬬国民学校」が廃校の「向島大畑国民学校」の全児童を収容する。

4月1日　「業平国民学校」に高等科が併設される。

4月1日　「柳島国民学校」が四教室を「業平国民学校」に貸与する。

4月1日　「向島更正国民学校」が五教室を「第五吾嬬国民学校」に貸与する。

4月8日　「外手国民学校」が「緑国民学校」「小梅国民学校」に、分校を置いて授業を開始する。（一二学級、児童数三六〇名）

4月10日　「三囲、明徳、横川国民学校」が廃校のため、「小梅国民学校」から引きあげる。

4月11日　「第二吾嬬国民学校」が「第四吾嬬国民学校」から「向島曳舟国民学校」に移転し、二部授業を開始する。

4月26日　「本所区教員組合」が「東京都国民学校教員組合」（国教）に参加する。

4月　旧「江東国民学校」の校舎が、戦災者の住宅に転用される。

昭和21年（1946）

4月　都立「本所高等女学校」が旧「牛島国民学校」の校舎に移転する。
9月1日　「中和国民学校」に「城東女子商業学校」が併設される。
12月24日　「向島木下川国民学校」の仮校舎が、旧学校敷地に完成する。

昭和22年（1947）

1月8日　「向島木下川国民学校」の仮校舎が完成し、「第三寺島国民学校」から移転する。
1月8日　「第一吾嬬国民学校」の校舎（六教室）が、旧「橘国民学校」跡地に完成し、「第四吾嬬国民学校」から移転する。
1月20日　国民学校で週二回、ララ物資による学校給食を開始する。
3月15日　本所、向島両区が統合されて墨田区が誕生する。
3月22日　「第五吾嬬国民学校」の校舎が完成し、「向島更正国民学校」から移転する。
3月31日　次の国民学校が廃校となる。
　本高国民学校　向島東部国民学校　向島西部国民学校
3月31日　教育基本法及び学校教育法が公布される。
4月1日　新学制による六三制が実施され、義務教育は小学校六年、中学校三年の九年間となる。このため国民学校の初等科は小学校となり高等科は廃止となる。（小、中学校は区立学校となる）
4月1日　「二葉小学校」が新学制発足により再開校となり、「緑小学校」で授業を開始する。
4月1日　「向島更正小学校」が「吾嬬第二中学校」に七教室を貸与する。
4月1日　「第二寺島小学校」が「寺島第二中学校」に一五教室を貸与する。

4月1日　「向島梅若小学校」が校舎の一部を一年間、「朝鮮学校」に貸与する。
4月10日　「第三吾嬬小学校」の校舎が旧校地に完成し、「第四吾嬬小学校」から移転する。
4月19日　都立「第七中学校」（墨田川高校）の校舎が完成し、「言問小学校」から移転する。
5月5日　「竪川中学校」が「中和小学校」で開校式を挙行する。
5月10日　「墨田中学校」が旧「牛島小学校」、「小梅小学校」を借りて開校する。
5月10日　「本所中学校」が都立「本所工業高等学校」を借りて開校式を挙行する。
5月10日　「吾嬬第一中学校」が「第四吾嬬小学校」で開校式を挙行する。
5月10日　「隅田第二中学校」が開校式を挙行する。
5月10日　「曳舟中学校」が「向島曳舟小学校」で開校式を挙行する。
5月10日　「吾嬬第二中学校」が「向島更正小学校」で開校式を挙行する。
5月10日　「両国中学校」が都立「第三中学校」（両国高校）で開校式を挙行する。
5月10日　「隅田第一中学校」が開校式を挙行する。
5月10日　「寺島第二中学校」が開校式を挙行する。
5月10日　「寺島第一中学校」が開校式を挙行する。
5月10日　「寺島第三中学校」が開校式を挙行する。
5月23日　「吾嬬青年学校」「隅田商工青年学校」の廃止を可決する。
5月24日　「向島工業学校」の校舎が復旧し、「曳舟小学校」から移転する。
5月31日　区立小中学校の現況は次のとおりである。

区立小学校

校名	所在地	児童	学級	教職員
二葉小学校	緑小学校内	三五〇	七	八
柳島小学校	横川橋四―四	五三〇	一二	一八
緑小学校	緑町二―八	八七八	一八	二四
外手小学校	緑小学校内	六九一	一二	一七
中和小学校	菊川一―二九	四五七	一一	一二
業平小学校	柳島小学校内	一六〇	六	九
小梅小学校	向島二―九	九二八	一八	二四
錦糸小学校	江東橋三―八	五〇八	一一	一三
言問小学校	向島須崎町二三七	五三一	一二	二〇
第一吾嬬小学校	吾嬬町東二―一	五三五	一二	一〇
第二吾嬬小学校	曳舟小学校内	二六四	六	一〇
第三吾嬬小学校	吾嬬町西五―八一	一七六	六	一三
第四吾嬬小学校	吾嬬町西四―四七	一六八五	三七	三九
第五吾嬬小学校	吾嬬町西八―三二	四六〇	一二	一四
第一寺島小学校	寺島町一―一一九	一四一二	二八	三一
第二寺島小学校	寺島町五―七〇	七二七	一七	二一
第三寺島小学校	寺島町六―一四	五一九	一二	一六
向島曳舟小学校	寺島町四―一七一	一四六八	二八	三一

区	校名	所在地	生徒	学級	教職員
向島	更正小学校	寺島町八―一〇九	九五八	二〇	二四
隅田	小学校	隅田町三―五七二	八八八	二一	二八
隅田	第二小学校	隅田町三―四七一	一〇一八	二三	二七
向島	梅若小学校	隅田町一―一三四	七八五	一七	二一
向島	木下川小学校	吾嬬町東七―六七	四一二	一〇	一五
区	立中学校	所在地	生徒	学級	教職員
竪川	中学校	菊川一―二九（中和小内）	二六五	六	一一
両国	中学校	江東橋一―四（都立三中内）	一九四	四	八
本所	中学校	横川橋四―一（都立本所工業内）	二〇三	五	六
墨田	中学校	小梅三―五（都立本所高女内）	四一六	九	一二
吾嬬	第一中学校	吾嬬町西四―四七（四吾小内）	四四七	一〇	一三
吾嬬	第二中学校	寺島町八―一〇九（更正小内）	二七二	六	九
曳舟	中学校	寺島町四―一七一（曳舟小内）	四〇三	一〇	一三
寺島	第一中学校	寺島町一―一一九（一寺小内）	四七一	一二	一七
寺島	第二中学校	寺島町五―七〇（二寺小内）	三〇六	九	一四
隅田	第一中学校	隅田町三―五七二（隅田小内）	二九一	八	一一
隅田	第二中学校	隅田町三―四七一（隅二小内）	二三一	五	七
寺島	第三中学校	寺島町六―一四（三寺小内）	九七	二	三

昭和22年（1947）

6月8日　「日本教職員組合」（日教組）が結成される。
6月18日　「第三吾嬬小学校」の仮校舎が完成する。
7月5日　「東京都教職員組合」（都教組）が結成される。「墨田区教職員組合」は「東京都教職員組合墨田支部」として参加する。
9月2日　「第二吾嬬小学校」の仮校舎が完成し、「向島曳舟小学校」から移転する。
9月20日　「緑小学校」がキャスリン台風による避難民約一〇〇〇名を収容し授業を一時停止する。
9月20日　「向島曳舟小学校」が台風による葛飾区の避難民約一八〇〇名を収容する。
9月20日　「向島木下川小学校」が台風による葛飾、江戸川両区の避難民一〇〇〇余名を収容する。
9月20日　「第四吾嬬小学校」が台風による葛飾区の避難民約一五〇〇名を収容する。
9月23日　「言問小学校」が台風による避難民八〇〇名を収容する。
9月29日　「柳島小学校」が開校五〇周年記念式典を「本所工業学校」の講堂で挙行する。
10月2日　「言問小学校」に収容の避難民が引揚げを完了する。
11月6日　「安田工業学校」が「横川小学校」に移転する。
11月10日　「中和小学校」に区立小学校初のＰＴＡが結成される。
12月3日　「第三吾嬬小学校」の増築校舎が完成する。

4月1日　新制高等学校（全日制、定時制）が発足する。
4月1日　都立「第三中学校」が都立「第三新制高等学校」と改称する。
4月1日　都立「第七中学校」が都立「第七新制高等学校」と改称する。

4月1日　都立「本所高等女学校」が都立「本所新制高等学校」と改称する。
4月1日　都立「向島女子商業学校」が都立「向島女子商業高等学校」と改称する。
4月1日　都立「向島工業学校」が都立「向島工業高等学校」と改称する。
4月1日　都立「本所工業学校」が都立「本所工業高等学校」と改称する。
4月1日　「隅田第二中学校」が「梅若小学校」の校舎の一部を使用する。
4月10日　「墨田中学校」が「言問小学校」に一二学級の分校を設置し、「小梅小学校」の分校を廃止する。
4月　「第五吾嬬小学校」の第一期増築校舎（三教室）が完成する。
6月26日　「本所中学校」が「柳島小学校」の一部を使用して授業を開始する。
7月13日　「吾嬬第一中学校」の校舎が「向島東部国民学校」跡地に完成し、「第四吾嬬小学校」から移転する。
7月15日　教育委員会法が公布施行される。
7月17日　「両国中学校」の校舎が「本所高等国民学校」跡地に完成し、都立「第三新制高等学校」（両国高校）から移転する。
7月20日　「錦糸小学校」が仮校舎から新校舎に移転する。
7月　「外手小学校」の第一期校舎復旧工事が完了する。
8月5日　「第一寺島小学校」が勅語、詔書類の一切を区役所に返還する。
8月8日　「隅田第二小学校」が勅語、詔書類を区役所に返還する。
8月31日　「第一吾嬬小学校」の第二期増築校舎（二教室）が完成する。

昭和23年（1948）

9月1日　「曳舟中学校」の校舎が吾嬬町西三丁目に完成し、「向島曳舟小学校」から移転する。
11月1日　都教育委員会が発足する。
11月12日　文部省が小学校に五段階評価法の採用を通達する。
12月24日　「本所中学校」の校舎が旧「明徳国民学校」跡地に完成し、都立「本所工業高等学校」から移転する。
12月25日　「墨田中学校」の校舎が旧「三囲国民学校」跡地に完成し、都立「本所高等学校」から移転する。

昭和24年（1949）

1月15日　教育公務員特例法が公布される。
3月6日　「隅田小学校」が一〇教室を「鐘淵中学校」（四月開校予定）へ移譲する。
3月10日　「向島木下川小学校」の増築校舎（四教室、家庭科室）が完成する。
3月12日　「二葉小学校」の第一期校舎復旧工事が完了し、「緑小学校」から移転する。
3月19日　「両国中学校」の第二期増築校舎が完成する。
3月20日　「第一吾嬬小学校」の第三期増築校舎が完成する。
3月31日　「寺島第二中学校」「隅田第一中学校」「隅田第二中学校」が廃校となる。
4月1日　「第四吾嬬小学校」の教育協議会がＰＴＡと改称する。
4月1日　都立「本所高等学校」に定時制が設置される。
4月2日　「第二吾嬬小学校」の増築校舎が完成する。
4月4日　都立「第三新制高等学校」に男女共学制が実施され、女子二名が入学する。

昭和24年（1949）

4月5日　「鐘淵中学校」（旧「隅田第一中学校」「隅田第二中学校」）が、「隅田小学校」に本校を、「隅田第二小学校」に分校を設置して開校する。
4月6日　「向島中学校」（旧「寺島第二中学校」）が、「第二寺島小学校」で開校式を挙行する。
4月11日　「寺島第一中学校」が分校を「言問小学校」に設置する。
4月15日　「曳舟中学校」の第一期増築校舎が完成する。
6月10日　社会教育法が公布施行される。
6月17日　「吾嬬第二中学校」の校舎が完成し、「第三寺島小学校」から移転する。
7月9日　「鐘淵中学校」の第一期校舎が隅田町二丁目に完成する。
7月21日　「本所中学校」のプール改修工事が完了する。
8月31日　「中和小学校」がキティ台風による避難民約一五〇〇名を収容する。
12月20日　「竪川中学校」が「菊川小学校」の校舎改修工事完了によって、「中和小学校」から移転する。
12月　「外手小学校」の第二期校舎復旧工事が完了する。
12月　「第五吾嬬小学校」の第二期増築校舎（二教室）が完成する。

昭和25年（1950）

1月26日　都立「第三新制高等学校」が都立「両国高等学校」と改称する。
1月26日　都立「第七新制高等学校」が都立「墨田川高等学校」と改称する。
1月26日　都立「本所新制高等学校」が都立「本所高等学校」と改称する。
1月26日　都立「向島女子商業高等学校」が都立「向島高等学校」と改称する。

昭和25年（1950）

2月27日　「業平小学校」の校舎が復旧し、「柳島小学校」から移転する。
2月28日　「第一吾嬬小学校」の第四期増築校舎（平屋建四教室）が完成する。
3月27日　「吾嬬第一中学校」の増築校舎が完成する。
3月31日　「寺島第一中学校」「寺島第三中学校」が廃校となる。
3月31日　「寺島中学校」（旧「寺島等一中学校」「寺島第三中学校」）が、「第三寺島小学校」に本校を、「言問小学校」に第一分校、「第一寺島小学校」に第二分校を設置して開校する。
3月31日　「中和小学校」に併設の「城東女子商業学校」が亀戸の校舎に移転する。
4月1日　都立「本所高等学校」が男女共学制を実施する。
4月1日　「江東小学校」が復活する。
5月4日　「第二吾嬬小学校」の増築校舎が完成する。
5月9日　「本所中学校」の第二期校舎補修工事が完了する。
5月15日　「吾嬬第二中学校」の第一期増築校舎が完成する。
5月　「緑小学校」の講堂復旧工事が完了する。
6月6日　「墨田中学校」の第二期増築校舎が完成して「言問分校」を廃止する。
6月17日　「寺島中学校」が開校式を挙行する。
6月20日　「第三吾嬬小学校」の増築校舎が完成する。
7月16日　「向島中学校」の校舎が寺島町五丁目に完成し、「第二寺島小学校」から移転する。
9月1日　小学校児童にパン、ミルク等の完全給食を実施する。
11月1日　「隅田小学校」の六教室を「鐘淵中学校」へ移譲する。

昭和26年（1951）

11月15日　「寺島中学校」が第二分校を廃止する。

2月11日　「向島曳舟小学校」の二階教室から出火し、四教室を焼失する。（出火原因は不明）

2月　「業平小学校」の第二期校舎復旧工事が完了する。（八教室）

3月1日　「江東小学校」が「両国小学校」と改称する。

3月15日　「鐘淵中学校」の第二期増築校舎が完成し、分校生徒が移転する。

3月24日　「墨田中学校」の増築校舎が完成し、都立「本所高等学校」内の分校を廃止する。

3月25日　「竪川中学校」の第二期校舎補修工事が完了する。

3月28日　「本所中学校」の第三期校舎補修工事が完了する。

3月31日　「寺島中学校」の新築校舎（六教室）が完成する。

3月31日　「第一寺島小学校」の旧校舎改築工事が完了する。

4月1日　「中川小学校」が吾嬬町東五丁目に開校する。

4月1日　「向島梅若小学校」「向島曳舟小学校」「向島更正小学校」「向島木下川小学校」が「梅若、曳舟、更正、木下川小学校」とそれぞれ改称する。

4月2日　「木下川小学校」の増築校舎が完成する。

4月2日　「吾嬬第二中学校」の第二期増築校舎が完成する。

4月5日　「吾嬬第二中学校」が「更正小学校」内の分校を廃止する。

4月7日　「中川小学校」が給食を開始する。

4月16日　「吾嬬第一中学校」の増築校舎が完成する。

昭和26年（1951）

4月　「曳舟小学校」の火災による焼失教室の修築が完了する。
5月5日　児童憲章が制定される。
5月28日　「寺島中学校」の新校舎が寺島町八丁目に完成し、「言問小学校」内の分校生徒が移転する。
6月1日　学校警備員制度が実施される。
6月18日　「曳舟中学校」の第二期増築校舎が完成する。
6月25日　「両国小学校」の校舎が復旧し、「緑小学校」内の児童全員が復帰する。
7月16日　「緑小学校」に警備員が配置される。
7月30日　「両国中学校」の第三期校舎補強工事が完了する。
7月　都児童生徒校外生活指導連絡協議会が発足する。
9月15日　区立「健康学園」（旧「本所区臨海学園」）が、千葉市登戸に開園する。
11月27日　都立「寺島図書館」が区に移管される。

昭和27年（1952）

1月24日　区立「寺島図書館」が開館する。
1月　「外手小学校」の第三期校舎復旧工事が完了する。
3月5日　「二葉小学校」の第二期校舎復旧工事が完了する。
3月20日　「第一吾嬬小学校」の第五期増築校舎（二階建四教室）が完成する。
3月25日　「吾嬬第一中学校」の増築校舎が完成する。
3月31日　「業平小学校」の第三期校舎復旧工事が完了する。（五教室）

昭和27年（1952）

4月1日　「吾嬬第一中学校」が「第四吾嬬小学校」内の分教場を廃止する。
4月5日　「両国小学校」の児童が「中和小学校」から復帰する。
4月24日　「第五吾嬬小学校」の第三期増築校舎（六教室）が完成する。
4月28日　対日平和条約が発効し連合軍による占領政策が終結する。
5月7日　都教委が学校給食実施要綱について通達する。
5月8日　「向島中学校」の第二期増築校舎が完成する。
5月14日　「曳舟中学校」の第三期増築校舎が完成する。
5月22日　「寺島中学校」の第二期増築校舎が完成し、「第三寺島小学校」内の分校を廃止する。
5月27日　区内中学校開校五周年記念大会（祝賀会、陸上競技会）が、区営グランドで開催される。
5月27日　「第三吾嬬小学校」の増築校舎（二階建）が完成する。
6月9日　「第二吾嬬小学校」の増築校舎が完成する。
6月11日　「吾嬬第二中学校」の第三期増築校舎が完成する。
6月13日　「鐘淵中学校」の第三期増築校舎が完成する。
7月1日　都立「向島高等学校」が都立「向島商業高等学校」と改称する。
8月1日　墨田児童相談所が開設される。
8月31日　「本所中学校」の第四期校舎補修工事が完了する。
9月5日　「本所中学校」の三階校舎に居住の戦災者が移転を完了する。
9月10日　「二葉小学校」の講堂復旧工事が完了する。
9月　「業平小学校」第四期校舎復旧工事が完了する。（三教室）

昭和27年（1952）

10月5日　初の墨田区教育委員の選挙が行われる。
10月14日　「日本父母と先生全国協議会」（全国ＰＴＡ協議会）が結成される。
10月30日　「吾嬬第二中学校」が都の健康優良校として表彰される。
10月　「吾嬬第二中学校」が初の産業教育振興補助金を受ける。（都内で四校指定）
11月1日　墨田区教育委員会が発足する。
11月21日　「吾嬬第二中学校」の子ども郵便局が大蔵大臣、日本銀行総裁から表彰される。
12月22日　「中川小学校」の第二期増築校舎が完成する。

昭和28年（1953）

1月　特殊学級設置準備委員会（小学部）を設ける。
2月12日　「吾嬬第二中学校」の第四期増築校舎が完成する。
2月27日　「寺島中学校」の第三期増築校舎が完成する。
3月9日　「木下川小学校」の増築校舎（四教室）が完成する。
3月9日　「更正小学校」の増築校舎（六教室）が完成する。
3月15日　「曳舟中学校」の第四期増築校舎が完成する。
4月1日　「外手小学校」に心身障害児童を対象とした特殊学級が設置される。
4月7日　「外手小学校」が旧「本横国民学校」に分教場を設置する。
4月10日　「吾嬬第一中学校」の増築校舎が完成する。
4月14日　小中学校の校外指導連絡会が発足する。
4月30日　「両国小学校」が都の視聴覚教育研究校に指定される。

昭和28年（1953）

5月1日　「曳舟中学校」に夜間部が設置される。（生徒数五七名）
5月11日　「緑小学校」に心身障害児童を対象とした特殊学級が設置される。
6月1日　「第二寺島小学校」に心身障害児童を対象とした特殊学級が設置される。
6月1日　「第三寺島小学校」に心身障害児童を対象とした特殊学級が設置される。
8月8日　理科教育振興法・学校図書館法が公布される。（昭和二九年四月一日施行）
8月15日　「吾嬬第二中学校」が文部省産業教育研究指定校となる。
9月21日　「緑小学校」が中国からの引揚げ孤児をあずかり、日本語学習をさせる。（約一か月半、二〇名）
9月29日　墨田区教育委員会に指導室が設置される。
10月10日　「竪川中学校」の第三期校舎補修工事が完了する。

昭和29年（1954）

2月　特殊学級設置準備委員会（中学部）を設ける。
2月27日　第一回墨田区成人学校が「本所中学校」及び「吾嬬第二中学校」に開校される。
3月3日　「鐘淵中学校」の第四期増築校舎が完成する。
3月13日　「第一吾嬬小学校」の増築校舎が完成する。（二階建八教室）
3月13日　「第三吾嬬小学校」が保健体育優良校として文部大臣から表彰される。
3月17日　「向島中学校」の第三期増築校舎が完成する。
3月20日　「木下川小学校」の改築校舎が完成する。
4月5日　「錦糸中学校」が旧「本横国民学校」を改修して開校する。

4月5日　「吾嬬第三中学校」が「第四吾嬬小学校」で開校式を挙行する。
4月14日　「第二吾嬬小学校」の増築校舎が完成する。
4月19日　「本所中学校」に心身障害生徒を対象とした特殊学級が設置される。
4月20日　「吾嬬第一中学校」に心身障害生徒を対象とした特殊学級が設置される。
4月　「業平小学校」の第五期校舎復旧工事が完了する。（三教室）
5月11日　「寺島図書館」の「緑分館」が「緑小学校」に開設される。
6月3日　学校給食法が公布される。
6月17日　墨田区特殊学級後援会が発足する。
7月18日　「吾嬬第三中学校」の新校舎が吾嬬町西三丁目に完成し、「第四吾嬬小学校」「吾嬬第一中学校」から移転する。
7月31日　「本所中学校」の第五期校舎補修工事が完了する。
9月22日　「中和小学校」が創立八〇周年記念式典を挙行する。
9月30日　「第一寺島小学校」の旧校舎改築工事が完了する。
10月21日　「中川小学校」の第三期増築校舎が完成する。
10月25日　第三回成人学校が錦糸中学校で開校される。（受講者三一三名）
11月4日　「吾嬬第二中学校」の第五期増築校舎が完成する。
11月8日　「寺島中学校」の第四期増築校舎が完成する。
11月17日　「本所中学校」の講堂改築工事が完了する。
11月19日　第四回特殊教育全国協議会が「外手小学校」ほか四会場で開催される。

12月24日　「錦糸中学校」の講堂兼雨天体操場の復旧工事が完了する。

1月20日　「業平小学校」の体育館兼講堂が完成する。

3月17日　区立中学校就職者激励大会が本所中学校講堂で開催される。

3月19日　「向島中学校」の第四期増築校舎が完成する。

3月19日　「第二吾嬬小学校」の増築校舎が完成する。

3月20日　「第一吾嬬小学校」の増築校舎（二階建四教室）が完成する。

3月24日　「吾嬬第三中学校」の増築校舎が完成する。

3月25日　「第一吾嬬小学校」の校舎増築工事が完了する。

3月31日　「曳舟小学校」の増築校舎が完成し、二部授業が解消される。

4月1日　「東京朝鮮第十初中級学校」の設立が認可される。

4月1日　「横川小学校」が復活し開校する。

4月18日　「鐘淵中学校」の第五期増築校舎が完成する。

4月25日　「寺島中学校」に心身障害生徒を対象とした特殊学級が設置される。

4月25日　「竪川中学校」に心身障害生徒を対象とした特殊学級が設置される。

5月4日　「中川小学校」が文部省初等教育国語実験校（三年間）の指定を受ける。

5月10日　この日を区内全中学校の開校記念日と定める。

6月17日　「第五吾嬬小学校」の増築校舎（一一教室）が完成する。

6月26日　「竪川中学校」の第四期校舎補修工事が完了する。

昭和30年（1955）

7月4日　「柳島小学校」のプールが完成する。
7月6日　「第五吾嬬小学校」の二部授業が廃止される。
9月15日　「錦糸小学校」が都の学校給食研究指定校となる。
9月28日　「第三吾嬬小学校」の増築校舎が完成する。
10月1日　「第三吾嬬小学校」に区内初の女性校長が発令される。
10月2日　日本学校給食会が発足する。
10月5日　「曳舟中学校」の第五期増築校舎が完成する。
10月18日　「両国小学校」が開校八〇周年記念式典を挙行する。
11月3日　「第三吾嬬小学校」が開校八〇周年記念式典を挙行する。
11月9日　墨田区青少年問題協議会が発足する。
11月27日　「二葉小学校」が開校五〇周年記念式典を挙行する。
12月1日　都が各校に校務主任を任命する。

昭和31年（1956）

2月6日　区が教育相談室を開設する。（本室「教育委員会室」分室「竪川中学校」「業平小学校」「寺島中学校」「第一吾嬬小学校」）
2月　「業平小学校」の第六期校舎復旧工事が完了する。（三教室）
3月12日　「吾嬬第二中学校」の第六期増築校舎が完成する。
3月14日　区立中学校就職者激励大会が二日間にわたり本所中学校講堂で開催される。（就職生徒二、一五七名）

昭和31年（1956）

3月15日　「寺島中学校」の第五期増築校舎が完成する。
4月6日　「東吾嬬小学校」が開校する。（児童数六二二名、うち二一五名は「中川小学校」に委託）
4月6日　「西吾嬬小学校」が開校する。（児童数三二〇名）
4月17日　「曳舟中学校」の夜間部が給食を開始する。
5月7日　「竪川中学校」の第五期校舎補修工事が完了する。
9月27日　「本所中学校」の第六期校舎補修工事が完了する。
9月28日　文部省が初の全国学力調査（国語・算数）を実施する。（抽出調査）
10月1日　任命制度による新教育委員会が発足する。
10月1日　開都五〇〇年記念祭のため各学校休業となる。

昭和32年（1957）

3月14日　区立中学校就職者激励大会が本所映画劇場で開催される。（就職生徒二、〇〇〇名）
3月31日　「西吾嬬小学校」の第二期増築校舎（木造二階建七教室）が完成する。
4月5日　「第五吾嬬小学校」の西校舎（四教室）が完成する。
4月6日　「東吾嬬小学校」の増築校舎が完成する。
4月13日　「横川小学校」の講堂が完成する。
5月10日　「木下川小学校」の増築校舎（四教室）が完成する。
5月12日　「寺島中学校」が文部省産業教育研究指定校となる。
5月22日　「鐘淵中学校」の第六期増築校舎が完成する。
6月3日　「曳舟中学校」の第六期増築校舎が完成する。
6月5日　「更正小学校」の増築校舎（二教室）が完成する。

昭和32年（1957）

8月2日　「墨田中学校」の体育館兼講堂が完成する。
9月25日　「本所中学校」の第七期校舎補修工事が完了する。
9月27日　文部省が全国抽出学力調査（社会・理科）を実施する。
10月8日　「中和小学校」が給食優良校として文部大臣から表彰される。
10月17日　「木下川小学校」の子ども銀行が、大蔵大臣並びに日本銀行総裁から表彰される。
10月　「業平小学校」の第七期校舎復旧工事が完了する。（三教室）
12月10日　「第四吾嬬小学校」の鉄筋校舎第一期改築工事が完了する。
12月17日　「緑図書館」が開館する。

昭和33年（1958）

1月14日　区立学校体育館が「曳舟中学校」内に開館する。
2月15日　「隅田小学校」が講堂の改修工事を完了する。
3月13日　区立中学校就職者激励大会が本所映画劇場で開催される。（就職生徒一、四〇〇名）
3月17日　「東吾嬬小学校」の第二期校舎増築工事が完了する。
3月18日　文部省が小中学校道徳の実施要綱を通達する。
3月25日　「竪川中学校」が亀沢町の新校舎（「本所国民学校」跡）に移転する。
3月31日　「隅田第二小学校」の鉄筋校舎第一期改築工事が完了する。
3月　「第三吾嬬小学校」の増築校舎が完成する。
4月1日　「菊川小学校」が「竪川中学校」の旧校舎を使用して開校する。
4月1日　「業平小学校」に心身障害児童を対象とした特殊学級が設置される。

4月1日　「竪川中学校」に特殊学級実習教室を併設する。
4月1日　都教委が各区に科学センターを設置する。
4月1日　「二葉小学校」に区立科学教育センターが設置される。
4月10日　学校保健法が公布される。
4月23日　都教委が教職員の勤務評定実施を決定する。
4月23日　都教組が勤評反対闘争を展開する。（一〇割休暇）
5月1日　公立小中学校の学級定員を五〇名と定める。
5月1日　文部省に体育局を設置する。
5月20日　「西吾嬬小学校」の第三期増築校舎（木造）が完成する。
6月1日　学校保健法が施行される。
6月3日　区立「上総湊健康学園」が千葉県君津郡天羽町海岸に完成する。
6月9日　「第四吾嬬小学校」の第二期校舎改築工事が完了する。
6月14日　区立中学生弁論大会が区立学校体育館で開催される。
6月15日　第一回「墨田区商工青年文化教室」が墨田中学校で開催される。（参加人員三四〇名）
6月20日　「第二吾嬬小学校」の増築校舎が完成する。
6月28日　「第一吾嬬小学校」の鉄筋校舎第一期改築工事が完了する。
7月15日　「菊川小学校」のプールが完成する。
7月31日　「緑小学校」のプールが完成する。
8月8日　「竪川中学校」の講堂復旧工事が完了する。

昭和33年（1958）

8月28日　小中学校の教育課程を四領域編成とし学習指導要領を教育課程の基準とする。（学校教育法施行規則の一部改正）
8月31日　「鐘淵中学校」の体育館兼講堂が完成する。
9月1日　都が教職員の勤務評定の提出を開始する。
9月1日　「第一吾嬬小学校」の鉄筋校舎第二期改築工事が完了する。
9月11日　小中学校で道徳の授業を実施する。
9月15日　日教組が勤評阻止全国統一行動を実施する。
9月27日　「第一吾嬬小学校」が台風二二号来襲のため臨時休校となり、地域の避難民四〇三名を収容する。
10月1日　文部省が小中学校の学習指導要領を告示する。
11月8日　「両国中学校」の体育館兼講堂が完成する。
12月31日　「鐘淵中学校」のプールが完成する。
※　この年、教員の勤務評定の実施をめぐって混乱が続く。

昭和34年（1959）

2月20日　都教委が指導要領の移行措置を決定する。
3月9日　「更正小学校」の増築校舎が完成する。（二教室）
3月12日　「東吾嬬小学校」の第三期校舎増築工事が完了する。
3月13日　「西吾嬬小学校」の第四期増築校舎（木造）が完成する。
3月16日　区立中学校就職者激励大会が本所映画劇場で開催される。（就職生徒一、三七八名）

3月31日　「隅田第二小学校」の第二期鉄筋校舎改築工事が完了する。
4月8日　「本所中学校」の第八期校舎補修工事が完了する。
4月10日　アジア諸国児童生徒作品展が六日間にわたり区議会議事堂で開催される。
4月10日　皇太子ご成婚式のため各学校休業となる。
4月20日　修学旅行専用列車「ひので」号が誕生し品川駅から出発する。
4月28日　「第四吾嬬小学校」の第三期校舎改築工事が完了する。
4月30日　市町村に社会教育主事が置かれる。
6月11日　「寺島中学校」の屋内運動場兼講堂が完成する。
6月11日　「曳舟中学校」の夜間部が完全給食を実施する。
6月27日　「菊川小学校」の講堂改修工事が完了する。
7月6日　「曳舟中学校」の分教場が「第四吾嬬小学校」に開設する。
7月14日　「外手小学校」のプールが完成する。
7月27日　「業平小学校」のプールが完成する。
7月29日　「横川小学校」のプールが完成する。
8月15日　「吾嬬第二中学校」のプールが完成する。
8月28日　文部省が道徳教育を義務化する。
9月26日　「第一吾嬬小学校」が台風一五号上陸のため、地域の避難民一二〇名を収容する。
9月30日　「本所中学校」の第九期校舎補修工事が完了する。
10月13日　区立「健康学園」（千葉市登戸）が廃止される。

昭和35年（1960）

11月15日　「東吾嬬小学校」の第四期校舎増築工事が完了する。
11月19日　学童擁護員（緑のおばさん）が各小学校に配置される。
12月17日　日本学校安全会法が公布される。

3月1日　日本学校安全会が発足する。
3月12日　「木下川小学校」の校舎改築工事が完了する。
3月15日　「吾嬬第一中学校」の体育館が完成する。
3月17日　「向島中学校」の体育館及び増築校舎が完了する。
3月20日　「第二吾嬬小学校」の木造校舎（二階建）が完成する。
3月23日　「吾嬬第二中学校」の第七期増築校舎が完成する。
3月31日　「隅田第二小学校」の第三期校舎改築工事が完了する。
4月1日　「竪川中学校」の特殊学級実習教室が「本所中学校」に移転する。
4月5日　「寺島中学校」の第六期増築校舎が完成する。
4月6日　「第四吾嬬小学校」に特殊学級が設置される。
6月9日　「吾嬬第一中学校」の鉄筋新校舎が完成する。
6月9日　「曳舟中学校」の鉄筋新校舎が完成する。
6月13日　「墨田中学校」の鉄筋新校舎が完成する。
6月14日　都が区立学校の「校務主任」を「教頭」に改める。
7月8日　「両国中学校」のプールが完成する。

昭和35年（1960）

7月　「曳舟中学校」のプールが完成する。
8月16日　「第三吾嬬小学校」の体育館が完成する。
8月　都が学校給食のための栄養士二名を初めて区に配属する。
9月1日　「曳舟中学校」の分教場が「第四吾嬬小学校」から移転する。
10月5日　文部省が全国学力調査（国語・数学）を実施する。（抽出）
11月21日　「錦糸小学校」が給食優良校として文部大臣から表彰される。
11月28日　「二葉小学校」が給食優良校として文部大臣から表彰される。
12月9日　「吾嬬第一中学校」の木造二階教室から出火し、一部を焼失する。

昭和36年（1961）

1月25日　「中川小学校」が原因不明の出火により四教室を焼失する。
2月7日　流行性感冒のため全小中学校が一一日まで一斉休校となる。
3月1日　「東吾嬬小学校」のプールが完成する。
3月15日　「吾嬬第二中学校」の屋内運動場が完成する。
4月1日　小学校の新学習指導要領による教育課程が全面実施される。
7月4日　「隅田小学校」のプールが完成する。
7月11日　「第二吾嬬小学校」の体育館が完成する。
7月19日　「吾嬬第三中学校」の体育館が完成する。
7月20日　「中和小学校」のプールが完成する。
8月24日　「曳舟中学校」の第二期校舎改築工事が完了する。

昭和36年（1961）

9月9日　「中川小学校」の焼失校舎の復旧工事が完了する。
9月26日　都が小学校の抽出学力調査を実施する。
10月26日　文部省が中学校二、三年生全員を対象に、五教科について初めての全国一斉学力調査を実施する。（日教組が反対闘争）
11月10日　「中川小学校」のプールが完成する。
12月15日　「第四吾嬬小学校」のプールが完成する。

昭和37年（1962）

4月1日　中学校の新学習指導要領による教育課程が全面実施される。
4月23日　「第五吾嬬小学校」の屋内運動場兼講堂が完成する。
4月30日　「第一吾嬬小学校」の屋内運動場兼講堂が完成する。
5月22日　「向島中学校」の鉄筋校舎第一期改築工事が完了する。
6月7日　「墨田中学校」の鉄筋校舎第二期改築工事が完了する。
7月6日　「寺島中学校」の鉄筋校舎第一期改築工事が完了する。
7月11日　文部省が全国小中学校一斉学力調査を実施する。
7月18日　「鐘淵中学校」の鉄筋校舎第一期改築工事が完了する。
8月10日　「吾嬬第三中学校」のプールが完成する。
8月22日　「第二吾嬬小学校」のプールが完成する。
8月25日　「竪川中学校」のプールが完成する。
9月11日　区立「青年館」が開館する。

9月11日	区立「あずま図書館」が開館する。
9月30日	「第五吾嬬小学校」のプールが完成する。
11月7日	文部省が学制九〇周年記念式典を東京文化会館で挙行する。

昭和38年（1963）

3月1日	区立中学校就職者激励大会が両国公会堂で開催される。
3月6日	「木下川小学校」の屋内運動場兼講堂が完成する。
3月9日	「梅若小学校」の屋内運動場兼講堂が完成する。
4月1日	都立「本所工業高等学校」が葛飾区水元小合町に移転する。
4月15日	「向島中学校」の鉄筋校舎第二期改築工事が完了する。
6月26日	文部省が全国一斉学力調査を実施する。（小学校五、六年、中学校二、三年生）
7月25日	「錦糸小学校」のプールが完成する。
8月1日	「隅田第二小学校」のプールが完成する。
8月20日	「西吾嬬小学校」のプールが完成する。
9月5日	新教育相談室が「両国小学校」に設置される。
12月2日	「言問小学校」に難聴学級が設置される。
12月21日	義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律が公布される。
1月25日	文部省が特殊教育振興方策を発表し、養護学校設置を各県に要請する。
1月27日	中学校が脱脂ミルク給食を開始する。

3月16日　「東吾嬬小学校」の屋内運動場兼講堂が完成する。
3月19日　「鐘淵中学校」の第二期鉄筋校舎が完成する。
3月24日　「寺島中学校」の鉄筋校舎第二期改築工事が完了する。
4月1日　「第四吾嬬小学校」の屋内運動場兼講堂が完成する。
5月24日　都で最初の特殊学級卒業生を対象とした「すみだ教室」が「横川小学校」に開設される。
5月26日　「曳舟小学校」が創立三〇周年記念式典を挙行する。
6月23日　文部省が全国中学校一斉学力調査を実施する。
7月30日　「第一寺島小学校」のプールが完成する。
7月31日　「第一吾嬬小学校」のプールが完成する。
8月1日　「第三吾嬬小学校」のプールが完成する。
8月14日　都教委が義務教育初の無償教科書配布を決定する。
9月4日　第一回「墨田区家庭教育学級」が「緑小学校」の父母を対象に開催される。
10月1日　新幹線による修学旅行が実施される。
10月10日　第一八回オリンピック東京大会が開催される。（九四か国参加）
10月14日　文部省が全国学力調査を悉皆調査から二〇パーセント抽出に改めることを発表する。
12月10日　「二葉小学校」の屋内運動場兼講堂が完成する。
12月21日　「吾嬬第三中学校」の校舎から出火、校長室、職員室、六教室など一一〇〇平方メートルを焼失する。

昭和40年（1965）

1月11日　中央教育審議会が「期待される人間像」の中間草案を発表する。
2月24日　「寺島中学校」の鉄筋校舎第三期改築工事が完了する。
3月3日　「隅田第二小学校」に区内初のピロティー式屋内運動場兼講堂が完成する。
4月1日　「菊川小学校」が都の学校給食研究協力校となる。
4月24日　「第二寺島小学校」に集団赤痢が発生し、患者九七名を出す。（授業停止）
5月1日　「向島中学校」に赤痢患者一名発生する。
5月3日　学校の集団赤痢患者が一〇三名に達し、「墨東病院」「駒込病院」に入院する。
5月10日　「第二寺島小学校」で赤痢二次感染終息とみて授業を再開する。
5月17日　「外手小学校」が開校五〇周年記念式典を挙行する。
6月16日　文部省が全国一斉学力調査を実施する。
7月1日　「業平小学校」「隅田第二小学校」に学童保育所が設置される。
7月17日　「二葉小学校」のプールが完成する。
7月20日　「木下川小学校」のプールが完成する。
9月1日　中学生用図書室が区役所第二出張所と吾嬬出張所に開設される。
11月19日　都教委が入試準備教育の是正について通達を出す。（補習教育の廃止など）
12月6日　旧「日進国民学校」跡地に区立中学校の共同運動場が完成する。

3月4日　「吾嬬第三中学校」の鉄筋校舎第一期改築工事が完了する。
3月7日　「西吾嬬小学校」の屋内運動場兼講堂が完成する。

昭和41年（1966）

3月11日　「小梅小学校」の体育館改修工事が完了する。
3月31日　「吾嬬第二中学校」の鉄筋校舎第二期改築工事が完了する。
6月24日　文部省が全国一斉学力調査を実施する。
6月30日　「墨田中学校」のプールが完成する。
7月1日　中学生用読書室が墨田二丁目出張所に開設される。
7月2日　「第一寺島小学校」「第四吾嬬小学校」に学童保育所が開設される。
7月13日　都教委が都立高校入試制度改善の基本方針を決定する。（学校群新設、内申書尊重、三教科制）
7月18日　「第二寺島小学校」のプールが完成する。
8月25日　「鐘淵中学校」に区内初の校庭撒水装置が完成する。
9月28日　都教委が都立高校の通学区域及び学校群に関する規則を制定する。
11月22日　文部省が学力テストの中止を発表する。
12月6日　「吾嬬第三中学校」の鉄筋校舎第二期改築工事が完了する。

昭和42年（1967）

2月1日　「言問小学校」が開校三〇周年記念式典を挙行する。
2月28日　錦糸公園に区立体育館が完成する。
3月1日　「第二寺島小学校」の屋内運動場兼講堂改築工事が完了する。
3月22日　「更正小学校」の鉄筋校舎第一期改築工事が完了する。
3月28日　「曳舟小学校」の鉄筋校舎第一期改築工事が完了する。

昭和42年（1967）

3月28日　都立「深川商業高等学校」が横川四丁目の校舎に移転する。
4月2日　「中川小学校」の鉄筋校舎第一期改築工事が完了する。
4月5日　「西吾嬬小学校」の鉄筋校舎第一期改築工事が完了する。
4月10日　「第一吾嬬小学校」の新校舎が完成する。
4月22日　「中川小学校」の屋内運動場が完成する。
5月12日　「曳舟小学校」の子ども郵便局が郵政大臣から表彰される。
5月23日　「吾嬬第二中学校」が区内中学校最初の完全給食を実施する。
6月1日　「曳舟中学校」が完全給食を開始する。
7月14日　旧「日進国民学校」内の戦災者が全員移動し、校舎の取りこわしを開始する。
9月15日　「横川小学校」に区立学校視聴覚センターが設置される。
10月18日　「菊川小学校」が給食優良校として文部大臣から表彰される。
11月28日　都学校公害対策連絡協議会が発足する。

昭和43年（1968）

2月1日　中学生用読書室が本所会館に開設される。
3月1日　「業平小学校」が開校五〇周年記念式典を挙行する。
3月10日　「第一寺島小学校」の鉄筋校舎第一期改築工事が完了する。
3月20日　「木下川小学校」の鉄筋校舎第一期改築工事が完了する。
3月25日　「第三吾嬬小学校」の鉄筋校舎第一期改築工事が完了する。
3月27日　「中川小学校」の鉄筋校舎第二期改築工事が完了する。

昭和43年（1968）

3月31日　「更正小学校」の体育館が完成する。
3月31日　「更正小学校」の鉄筋校舎第二期改築工事が完了する。
3月31日　「曳舟小学校」の鉄筋校舎第二期改築工事が完了する。
4月1日　「第三吾嬬小学校」に特殊学級が設置される。
4月1日　「東吾嬬小学校」の鉄筋校舎第一期改築工事が完了する。
5月1日　中学生用読書室が八広会館に開設される。
5月12日　「鐘淵中学校」「吾嬬第二中学校」の体育館を区民に開放する。
6月24日　「向島中学校」が完全給食を開始する。
7月1日　「鐘淵中学校」が完全給食を開始する。
7月1日　「寺島中学校」が完全給食を開始する。
7月11日　文部省が新小学校学習指導要領を告示する。（昭和四六年四月実施）
11月1日　「錦糸小学校」が創立五〇周年記念式典を挙行する。

昭和44年（1969）

2月10日　「竪川中学校」が完全給食を開始する。
2月27日　「東吾嬬小学校」の鉄筋校舎第二期改築工事が完了する。
2月27日　「墨田中学校」の鉄筋校舎第三期改築工事が完了する。
2月28日　「第三吾嬬小学校」の鉄筋校舎第二期改築工事が完了する。
3月3日　「本所中学校」が完全給食を開始する。
3月15日　「曳舟中学校」の鉄筋校舎第三期改築工事が完了する。

3月15日　「木下川小学校」の鉄筋校舎第二期改築工事が完了する。
3月31日　「曳舟小学校」の鉄筋校舎第三期改築工事が完了する。
3月31日　「第一寺島小学校」の鉄筋校舎第二期改築工事が完了する。
3月31日　「更正小学校」の鉄筋校舎第三期改築工事が完了する。
4月1日　「向島中学校」に難聴学級が設置される。
4月12日　「第三寺島幼稚園」が開園する。
4月14日　文部省が新中学校学習指導要領を告示する。（昭和四七年四月から実施）
4月15日　「緑幼稚園」が開園する。
4月24日　「墨田中学校」が完全給食を開始する。
5月12日　「梅若小学校」の鉄筋校舎第一期改築工事が完了する。
5月27日　「梅若小学校」のプールが完成する。
6月24日　「曳舟小学校」のプールが完成する。
7月1日　中学生用読書室が緑会館に開設される。
8月12日　「更正小学校」のプールが完成する。
8月　「竪川中学校」「曳舟中学校」「吾嬬第二中学校」のプールが区民に夜間開放される。
10月2日　「竪川中学校」がLL装置による授業を開始する。
10月15日　「榛名高原学園」が群馬県伊香保町に完成する。
11月1日　中学生用読書室が向島言問会館に開設される。

2月24日　区立中学校就職者激励大会が両国公会堂で開催される。
3月15日　「第三吾嬬小学校」の鉄筋校舎第三期改築工事が完了する。
3月20日　「隅田小学校」の鉄筋体育館が完成する。
3月20日　「吾嬬第三中学校」の鉄筋校舎第三期改築工事が完了する。
3月20日　小中学校の体育館の鉄筋化が終了する。
3月23日　「第二吾嬬小学校」の鉄筋校舎第一期改築工事が完了する。
3月30日　「東吾嬬小学校」の鉄筋校舎第三期改築工事が完了する。
3月31日　「中川小学校」の鉄筋校舎第三期改築工事が完了する。
4月10日　「西吾嬬小学校」の鉄筋校舎第二期改築工事が完了する。
4月17日　「梅若小学校」の鉄筋校舎第二期改築工事が完了する。
4月25日　「吾嬬第一中学校」の増築鉄筋校舎が完成する。
4月25日　「第二寺島小学校」の鉄筋校舎第一期改築工事が完了する。
5月6日　「吾嬬第三中学校」が完全給食を開始する。
5月12日　「榛名高原学園」が開園し、中学校の移動教室が実施される。
5月15日　「曳舟小学校」の子ども郵便局が郵政省から表彰される。
5月20日　「第一吾嬬小学校」の新校舎が完成する。
5月22日　「小梅小学校」が創立五〇周年記念式典を挙行する。
6月1日　「吾嬬第一中学校」が完全給食を開始する。
7月21日　「第一寺島小学校」の体育館が完成する。

昭和45年（1970）

8月24日　「両国小学校」の体育館が完成する。
8月28日　「吾嬬第一中学校」のプレハブ倉庫から出火し、同倉庫を全焼し木造校舎の一部を焼失する。
9月2日　「言問小学校」で言語障害児のための「ことばの教室」が開級式を挙行する。（入級生二六名）
11月13日　「二葉小学校」に初の校庭緑化として「緑のへい」が完成する。
11月30日　「曳舟小学校」に「緑のへい」が完成する。
※　この年、二年計画で小中学校の保健室に、空気清浄機を常設する。

昭和46年（1971）

1月20日　公害教育のため小中学校の学習指導要領の一部を改正する。
2月27日　小学校及び中学校の指導要録を改訂する。
3月10日　「寺島中学校」に区内初の校舎屋上プールが完成する。
3月13日　特殊教育諸学校小中学部の新学習指導要領を告示する。
3月23日　「西吾嬬小学校」の鉄筋校舎第三期改築工事が完了する。
3月25日　「第一寺島小学校」の鉄筋校舎第三期改築工事が完了する。
3月25日　「第三吾嬬小学校」の鉄筋校舎第四期改築工事が完了する。
3月30日　「東吾嬬小学校」の鉄筋校舎第四期改築工事が完了する。
3月31日　「吾嬬等一中学校」のプールが完成する。
4月6日　学校給食の食事内容を一〇年ぶりに改訂する。
4月7日　「第二吾嬬小学校」の鉄筋校舎第二期改築工事が完了する。

4月9日　「吾嬬第三中学校」の鉄筋校舎第四期改築工事が完了する。
4月12日　「第二寺島小学校」の鉄筋校舎第二期改築工事が完了する。
4月13日　「更正幼稚園」が「更正小学校」内に開園する。
4月15日　「第二吾嬬小学校」のプールが完成する。
4月15日　「両国中学校」が完全給食を開始する。
4月15日　「柳島幼稚園」が「柳島小学校」内に開園する。
4月26日　「梅若小学校」の鉄筋校舎第三期改築工事が完了する。
4月28日　「錦糸中学校」が完全給食を開始する。
5月1日　「第五吾嬬小学校」の鉄筋校舎第一期改築工事が完了する。
6月1日　「曳舟中学校」の二部（夜間）に海外引揚者対象の日本語学級が開設される。
6月15日　「緑小学校」が創立六〇周年記念式典を挙行する。
9月26日　「吾嬬第二中学校」が都中学校柔道大会で優勝する。
10月25日　「曳舟小学校」の子ども郵便局が都知事から表彰される。
10月26日　「曳舟小学校」が警視庁から交通安全の表彰を受ける。
11月1日　「木下川小学校」の校庭緑化工事が完了する。
11月5日　「第一吾嬬小学校」が開校八〇周年記念式典を挙行する。
11月16日　「隅田第二小学校」が開校四〇周年記念式典を挙行する。

2月14日　「吾嬬第三中学校」が緑化運動推進優秀校として都から表彰される。

昭和47年（1972）

3月10日　「錦糸中学校」の体育館が完成する。
3月15日　「向島中学校」のプールが完成する。
3月31日　「中和小学校」の鉄筋校舎第一期改築工事が完了する。
4月1日　「木下川小学校」が同和教育学力水準向上事業校となる。
4月1日　「二葉小学校」に心身障害学級が設置される。
4月1日　新中学校教育課程が全面実施となる。
4月30日　「第一寺島小学校」の鉄筋校舎第四期改築工事が完了する。
4月30日　「両国中学校」の体育館が完成する。
4月30日　「両国中学校」の鉄筋校舎第一期改築工事が完了する。
5月1日　「第五吾嬬小学校」の鉄筋校舎第二期改築工事が完了する。
5月4日　「第二吾嬬小学校」の鉄筋校舎第三期改築工事が完了する。
5月8日　「吾嬬第一中学校」に心障学級の校舎が完成する。
6月5日　「錦糸小学校」の鉄筋校舎第一期改築工事が完了する。
10月5日　文部省が学制一〇〇年記念式典を国立劇場で挙行する。
10月　「第二吾嬬小学校」に学童保育クラブが開所する。
11月12日　「横川小学校」が開校七〇周年記念式典を挙行する。
12月19日　「西吾嬬小学校」の鉄筋校舎第四期改築工事が完了する。

※　この年から三年計画で小中学校の保健室に冷暖房機を常設する。

1月15日　「本所中学校」が光化学スモッグの研究により文部大臣賞を受ける。
1月20日　「梅若小学校」の鉄筋校舎第四期改築工事が完了する。
3月1日　区立中学校就職者激励大会が区民会館で開催される。
3月30日　「向島中学校」「柳島小学校」「第五吾嬬小学校」「東吾嬬小学校」の校庭緑化が完成する。
4月1日　「吾嬬第二中学校」が同和教育学力水準向上事業校となる。
4月11日　「曳舟幼稚園」が開園する。
4月12日　「菊川幼稚園」が開園する。
4月30日　「竪川中学校」の鉄筋校舎第一期改築工事が完了する。
5月10日　「第二吾嬬小学校」が開校八〇周年記念式典を挙行する。
5月12日　「両国中学校」の新校舎が完成する。
5月30日　「本所中学校」の鉄築校舎第一期改築工事が完了する。
5月30日　「錦糸小学校」の鉄筋校舎第二期改築工事が完了する。
5月30日　「中和小学校」の体育館が完成し、鉄筋校舎第二期改築工事が完了する。
5月31日　「第三吾嬬小学校」の増築校舎が完成する。
6月　小学校にカラーテレビが設置される。
7月11日　「第三寺島小学校」の鉄筋校舎第一期改築工事が完了する。
7月19日　「第三寺島幼稚園」の新園舎が完成する。
10月17日　都教委が四九年度から身障児の全員入学の方針を決定する。

昭和48年（1973）	昭和49年（1974）
11月4日 「第三吾嬬小学校」が学校給食優良校として文部省から表彰される。	1月 「寺島中学校」「第一寺島小学校」「第一吾嬬小学校」「隅田小学校」「中和小学校」の校庭緑化が完成する。
11月6日 「隅田小学校」が開校九〇周年記念式典を挙行する。	2月27日 心身障害教育二〇周年記念式典が区民会館で挙行される。
11月17日 「曳舟小学校」の子ども郵便局が大蔵大臣、日本銀行総裁から表彰される。	3月15日 「曳舟中学校」が二部創立二〇周年記念式典を挙行する。
11月17日 文部省が高校進学率は八九・四パーセントと発表する。	3月25日 「第三吾嬬小学校」「第四吾嬬小学校」の校庭緑化が完成する。
11月21日 文部省が小中高一貫の教育課程を編成するため、審議会を発足させる。	4月3日 都が本年度から小中学校に就学を希望する心身障害児全員の入学を全国に先がけて決定する。
	5月10日 「更正小学校」が開校四〇周年記念式典を挙行する。
	5月27日 学校教育法の一部改正により、教頭の法制化が成立する。
	5月31日 「竪川中学校」の鉄筋校舎第二期改築工事が完了する。
	6月20日 「曳舟中学校」の鉄筋校舎が完成する。
	6月30日 「横川小学校」の体育館が完成する。
	6月30日 「横川小学校」の鉄筋校舎第一期改築工事が完了する。

昭和49年（1974）

7月1日　隅田公園内に区立屋内プール体育館が開館する。
7月18日　「錦糸中学校」の鉄筋校舎第一期改築工事が完了する。
7月31日　「小梅小学校」の鉄筋校舎改築工事が完了する。
8月1日　「両国中学校」の新プールが完成する。
8月12日　「本所中学校」の鉄筋校舎第二期改築工事が完了する。
8月30日　「両国小学校」の鉄筋校舎第一期改築工事が完了する。
9月1日　「立花小学校」が立花一丁目に開校する。
10月22日　「中和小学校」が開校一〇〇周年記念式典を挙行する。
10月22日　「第二寺島小学校」が開校五〇周年記念式典を挙行する。
11月1日　「第二吾嬬小学校」の校庭緑化が完成する。
11月7日　「第三寺島小学校」の鉄筋校舎第二期改築工事が完了する。
11月20日　「立花小学校」のプールが完成する。
11月20日　「本所中学校」が給食指導優良校として文部省から表彰される。
11月21日　校長、教頭による全国教育管理職員団体協議会が結成される。

昭和50年（1975）

2月12日　「立花小学校」の屋内運動場が完成する。
3月10日　区立中学校就職者激励大会が区民会館で開催される。なお、本年度以降は廃止となる。
3月13日　「墨田中学校」の鉄筋校舎第四期改築工事が完了する。
3月20日　「小梅小学校」の校庭緑化が完成する。

昭和50年（1975）

3月29日　「第三寺島小学校」の校庭緑化が完成する。
4月11日　「立花幼稚園」が開園する。
5月16日　「外手小学校」が開校六〇周年記念式典を挙行する。
5月26日　「横川小学校」の鉄筋校舎改築工事が完了する。（屋上プールを含む）
5月31日　「竪川中学校」の鉄筋校舎第三期改築工事が完了する。
6月21日　「両国小学校」の鉄筋校舎第二期改築工事が完了する。
6月28日　「二葉小学校」の鉄筋校舎第一期改築工事が完了する。
7月10日　「錦糸中学校」の新校舎が完成する。
10月23日　文部省が東京の高校進学率を九六・六パーセントと発表する。
11月5日　「梅若小学校」が開校四〇周年記念式典を挙行する。
11月9日　明徳校友会が「明徳小学校」開校一〇〇周年記念式典を挙行する。
11月13日　「第三吾嬬小学校」が開校一〇〇周年記念式典を挙行する。
11月18日　「両国小学校」が開校一〇〇周年記念式典を挙行する。
12月9日　学校給食分科審議会が学校給食への米飯導入の方針を決定する。
12月26日　文部省が学校教育法の一部改正により主任を制度化する。

昭和51年（1976）

3月31日　「竪川中学校」の体育館が完成する。
3月31日　「竪川中学校」の鉄筋校舎第四期改築工事が完了する。
4月1日　「文花小学校」が文花一丁目に開校する。

昭和51年（1976）

4月8日　専修学校法が実施され一〇三一校が発足する。
5月7日　文部省が教育白書「わが国の教育水準」を発表する。
6月15日　都教委が「学校における適正な進路指導について」通達を出す。
6月30日　「第五吾嬬小学校」の新プールが完成する。
7月8日　「両国小学校」のプールが完成する。
7月16日　「錦糸中学校」のプールが完成する。
9月8日　文部省が業者テストを授業中に行うことは望ましくないとの通達を出す。
9月16日　「二葉小学校」の鉄筋校舎第二期改築工事が完了する。
10月2日　「西吾嬬小学校」に「ことばの教室」が開設される。
10月28日　「東吾嬬小学校」が開校二〇周年記念式典を挙行する。
11月6日　「木下川小学校」が開校四〇周年記念式典を挙行する。
11月16日　文部省が幼稚園教育一〇〇年記念式典を挙行する。
11月27日　「二葉小学校」が開校七〇周年記念式典を挙行する。
12月7日　文部省が学校給食三〇周年記念大会を挙行する。
12月18日　教育課程審議会が「小・中・高校の教育課程の基準の改善について」答申する。

昭和52年（1977）

1月25日　「西吾嬬小学校」が開校二〇周年記念式典を挙行する。
1月28日　都が学校給食三〇周年記念大会を開催する。
3月31日　「吾嬬第三中学校」の増築校舎が完成する。

4月6日　主任制度化未実施の五都府県教育長会議で、主任制導入を確認する。
7月18日　「竪川中学校」が開校三〇周年記念式典を挙行する。
7月23日　文部省が小中学校新学習指導要領を告示する。
8月20日　「文花小学校」が防災ポスター優秀校として都知事から表彰される。
10月6日　文部省が小中学校の新学習指導要領への移行措置を告示する。
10月16日　「第五吾嬬小学校」が開校五〇周年記念式典を挙行する。
10月27日　文部省が中学校教育三〇周年記念式典を挙行する。
11月2日　「吾嬬第二中学校」が開校三〇周年記念式典を挙行する。
11月8日　「本所中学校」が開校三〇周年記念式典を挙行する。
11月8日　「第四吾嬬小学校」が開校五〇周年記念式典を挙行する。
11月9日　「吾嬬第一中学校」が開校三〇周年記念式典を挙行する。
11月10日　「曳舟中学校」が開校三〇周年記念式典を挙行する。
11月11日　「柳島小学校」が開校八〇周年記念式典を挙行する。
11月22日　「墨田中学校」が開校三〇周年記念式典を挙行する。
11月25日　「両国中学校」が開校三〇周年記念式典を挙行する。
12月16日　「業平小学校」の鉄筋校舎第一期改築工事が完了する。
12月19日　「鐘淵中学校」の防災校舎が完成し堤通三丁目の新校舎に移転する。

1月12日　「鐘淵中学校」が開校三〇周年記念式典を挙行する。

2月25日　都教委が主任制について基本的見解を発表する。
3月3日　都教委が主任制度化案を発表する。
3月6日　「小梅小学校」の体育館が完成する。
4月1日　都立「墨田養護学校」が葛飾区水元養護学校内にて開校する。
4月1日　日本学校安全会の災害共済給付が改善される。
5月8日　「あわの自然学園」が栃木県粟野町に開園する。
5月13日　日本PTA全国協議会が三〇周年記念式典を挙行する。
6月1日　「菊川小学校」が開校二〇周年記念式典を挙行する。
7月31日　「更正小学校」の鉄筋校舎増築工事が完了する。
9月12日　都心身障害者教育一〇〇年記念式典が挙行される。
10月1日　都教委が主任制を実施する。
10月19日　「業平小学校」の鉄筋校舎第二期改築工事が完了する。
11月16日　「梅若小学校」の校庭緑化が完了する。
11月16日　文部省が特殊教育一〇〇年記念式典を挙行する。
11月22日　「隅田小学校」の鉄筋四階建改築校舎が完成する。
11月22日　「隅田小学校」の体育館が完成する。
12月1日　「第三寺島小学校」が開校五〇周年記念式典を挙行する。
12月2日　「第三〇回全国同和教育研究大会」が「吾嬬第三中学校」「第二吾嬬小学校」「柳島小学校」を会場として二日間開催される。

3月1日　「業平小学校」が開校六〇周年記念式典を挙行する。
3月30日　「中川小学校」の増築校舎が完成する。
4月1日　区が主任制を実施する。
4月1日　養護学校が義務制となる。
4月1日　都教委が公立小学校の教育課程編成要領を発表する。
6月1日　「木下川小学校」が人権尊重教育研究推進校となる。
6月1日　「吾嬬第二中学校」が人権尊重教育研究推進校となる。
6月4日　「曳舟小学校」の子ども郵便局が郵政大臣から表彰される。
6月7日　都立「墨田養護学校」が八広五丁目に落成し祝賀式典を挙行する。
7月2日　文部省が盲・ろう・養護学校の新指導要領を告示する。
7月14日　「隅田小学校」のプールが完成する。
9月1日　「第五吾嬬小学校」が人権尊重教育研究推進校となる。
10月12日　「第一寺島小学校」が開校一〇〇周年記念式典を挙行する。
11月1日　「立花小学校」が給食優良校として文部大臣から表彰される。
11月19日　「外手小学校」の鉄筋校舎第一期改築工事が完了する。
11月19日　「外手小学校」の体育館が完成する。
11月20日　「向島中学校」が開校三〇周年記念式典を挙行する。
12月30日　「隅田第二小学校」の校庭緑化が完成する。

昭和55年（1980）

3月5日　都教委が公立中学校の教育課程編成要領を作成する。
4月1日　小学校の学習指導要領が改正施行される。
4月9日　「寺島中学校」の体育館が完成する。
4月9日　「中川幼稚園」が開園する。
6月18日　「立花図書館」が開館する。
8月24日　第一回墨田区教員海外派遣団が出発する。
10月1日　「八広図書館」が開館する。
11月6日　「寺島中学校」が開校三〇周年記念式典を挙行する。
12月12日　「外手小学校」の鉄筋校舎第二期改築工事が完了する。

昭和56年（1981）

2月12日　墨田区学校保健会が設立される。
3月31日　全小中学校に墨田区防災行政無線移動局が設置される。
4月1日　中学校の学習指導要領が改正施行される。
4月16日　「墨田中学校」の新体育館が完成する。
5月8日　榛名高原学園の旧館改築工事が完了する。
5月17日　鐘ヶ淵伸鉄跡地が「隅田第二小学校」のグランドとなる。
8月26日　「墨田中学校」が全国陸上競技大会に出場する。
10月27日　「錦糸小学校」が都学校安全優良校として表彰される。
10月28日　「横川小学校」が都学校保健優良校として表彰される。

	昭和56年 （1981）
	11月2日　「中川小学校」が開校三〇周年記念式典を挙行する。 11月11日　「第一吾嬬小学校」が開校九〇周年記念式典を挙行する。 11月12日　「外手小学校」の新校舎が完成する。 11月15日　「二葉小学校」が日本水泳連盟から学童水泳優秀校として表彰される。 11月20日　「隅田第二小学校」が開校五〇周年記念式典を挙行する。 11月26日　「緑小学校」が開校七〇周年記念式典を挙行する。 12月1日　「吾嬬第三中学校」が日本英語検定協会から団体優秀校として表彰される。

墨田区教育史年表
百十四年の歩み

発行　昭和五十七年六月
編集　墨田区教育委員会
墨田区横網一丁目六番一号
電話　（六二六）三一五一

印刷　大東印刷工業株式会社
墨田区向島三丁目三三―五
電話　（六二五）七四八一

★いちばんあとの日までにおかえしください。

てらじまとしょかん
でんわ 611-4610

ひきふね自動出納
21 147070